

か相手方ト抱藝妓ニ關スル招聘契約ヲ締結シタルモノトスルキハ相手方ニ對シ自己ノ權利トシテ花代金ヲ請求シ得ルモノナルコト疑ナシ原判決カ花代金請求權ナルモノハ本來藝妓自身ニノミ屬スルモノト速斷シ上告人ノ本訴請求カ如何ナル法律關係ニ基クモノナリヤニ付必要ナル釋明ヲ爲サスシテ之ヲ棄却シタルハ亦審理ヲ盡ササルモノト謂フヘシ (大審院民二、一二年(オ)二六七七號、藝妓花代請求事件、判決、法律新聞四、二五四號、一七頁)

藥品營業並藥品取扱規則

●藥品營業並藥品取扱規則ノ法意ト免許鑑札ノ借受

藥種商ハ藥品營業並藥品取扱規則所定ノ制限ノ下ニ毒藥劇藥其ノ他ノ指定藥品ニ付テモ賣買ヲ許サルルモノナルカ故ニ若右法規ノ制限ヲ無視シ毒藥劇藥等ヲ濫ニ販賣スルコトアランカ事後ニ至リテ之ヲ處罰スルノミヲ以テハ未タ公衆衛生ノ安全ヲ期シ難ク寧ロ營業開始ノ事前ニ於テ業者ノ人選ヲ嚴ニシ其ノ營業ノ許否ヲ決スルコトニ依リ危險ノ發生ヲ未然ニ防止スルノ適切ナルニ如カス同法ハ此ノ見地ヨリシテ其ノ第二十一條ニ於テ藥種商ニ付免許制度ヲ採用スルト共ニ同第三十九條ノ四第一號ニ於テ免許ヲ受ケタル者ノ藥種商營業ヲ禁止シ之ヲ處罰スルノ規定ヲ設ケタルモノナリトス從テ該制度タルヤ營業届出主義ニ依ル責任者ノ豫定ヲ目的トスルモノニ非ス又同法ニ所論免許鑑札貸與等ニ關シ明文上特別ノ規定存セサル所以ノモノハ營業免許ハ元來對人的ニシテ其ノ效力ハ之ヲ受ケタル特定人ニ專屬シ其ノ權利ヲ第三者ニ移轉シ若クハ第三者ヲシテ代ツテ之ヲ行使セシムルヲ得サルハ叙上免許制度ノ本質ニ照ラシ論ヲ俟タサルト

コロナルヲ以テ此ノ自明ノ事柄ヲ敢テ法文ニ明示スルノ要ナシトシタルカ爲ニ外ナラスサレハ該明文ナキノ故ヲ以テ免許鑑札ノ貸與ヲ許容スルノ法意ナリト解スヘキニ非ス (大審院二刑一三年(レ)五四七號、藥品營業並藥品取扱規則違反事件、一三年六月二日判決、上告人山田久四郎、辯護人田村達、法律新聞四、三一四號、九頁)

行政廳ノ違法處分ニ關スル行政裁判ノ件 (明治二十三年法律一〇六號)

法律勅令ニ別段ノ規程アルモノヲ除ク外左ニ場ケル事件ニ付行政廳ノ違法處分ニ由リ權利ヲ毀損セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

三 營業免許ノ拒否又ハ取消ニ關スル事件

●營業免許ノ拒否又ハ取消ノ意義

明治二十三年法律第六號第三號ニハ「營業免許ノ拒否又ハ取消ニ關スル件」トアリ茲ニ所謂營業免許ノ拒否又ハ取消トハ營業免許ノ出願ヲ拒否シタル場合又ハ既存ノ營業免許ヲ取消シタル場合ヲ指シ何等營業免許ヲ受ケタルコトナキ者ノ營業ヲ禁止シタル場合ヲ包含セサルモノト解スルヲ相當トス (行政二、一二年一一九號、營業不法禁止取消ノ訴、一三年三月七日判決、原告戸田音八外十一名、訴訟代理人永井實太郎外一名、被告兵庫縣知事、法律新聞四、三〇八號、九頁)

司法省訓令通牒

●司法省訓令、通牒ノ性質及效力

- 一、司法省訓令ハ司法大臣カ其ノ所管下級官廳ニ對シ其ノ權限ノ行使ヲ指揮スル爲ニ爲ス命令ニシテ下級官廳ハ此ノ訓令ニ羈束セラレ若シ之ニ違背スルトキハ司法大臣ハ或ハ其ノ下級官廳ノ處分ヲ取消シ又ハ其ノ官廳ヲ組織スル官吏ヲ懲戒スルコトヲ得ヘシ但シ司法大臣ト雖裁判所ニ對シテ法令ノ解釋ヲ訓示スルコトヲ得ス
- 二、司法省通牒ハ司法大臣ヨリ其ノ所管下級官廳ニ對シ又ハ同級官廳間ニ於テ爲サル公文書ニ依ル通知ノ意ニシテ其ノ下級官廳ニ對スルモノハ其ノ效力訓令ト異ルコトナシ (法曹會一三年、二月二五日決議、雜誌、一六卷、五號、一〇二頁)

鐵鋼配給統制規則

●鐵鋼配給統制規則二條ノシヤリング業者ノ意義

- 一、鐵鋼配給統制規則第二條ノ規定ニ依リ販賣業者ト看做シタルシヤリング業者ハ厚サ三耗超ノ鋼板ヲ截斷スル業者ヲ謂フモノニシテ厚サ三耗以下ノ鋼板ヲ截斷スル業者ハ之ヲ本則ニ所謂シヤリング業者トシテ取扱ハス
- 二、厚サ三耗以下ノ鋼板ノ截斷販賣ヲ業トスル者ハ道府縣ノ鐵鋼製品工業組合聯合會ヨリ材料

- 鋼板ノ割當ヲ受クルモノトス而シテ其ノ材料鋼板ノ購入ニ當リテハ鐵鋼割當證明書ヲ必要トスルモ業者カ其ノ切揃ヘタル製品ヲ販賣スルニ當リテハ鐵鋼割當證明書ト引換フル必要ナシ
- 三、シヤリング業者カ組織スル工業組合ニハ第一種シヤリング工業組合(共販指定シヤリング業者カ組織ス)及第二種シヤリング工業組合(特約店シヤリング業者カ組織ス)ノ兩組合アリ第二種シヤリング工業組合中ニハ東京府及兵庫縣ニ於ケルカ如ク厚サ三耗以下ノ鋼板ヲ截斷スル業者ヲモ包含スルモノアルモ之等業者ハ前二項ニ記載シタル通之ヲシヤリング業者トシテ取扱ハス
- 四、第二種シヤリング工業組合ニ所屬スル厚サ三耗以下ノ鋼板ヲ截斷スル業者ハ之ヲ分離シ別個ノ工業組合ヲ結成セシムル豫定ナリ (刑事局長、一三年九月一三日通牒、雜誌一六卷、一〇號、九四頁)

●鐵鋼配給統制規則施行前ノ契約ニ基ク鐵鋼引渡ト妥當性

鐵鋼ノ製造業者又ハ販賣業者カ鐵鋼ヲ使用スル者ニ對シ鐵鋼配給統制規則施行前ノ販賣契約ニ基キ其ノ施行後昭和十三年九月十二日商工省令第七十八號ノ施行前鐵鋼割當證明書ト引換ニ非スシテ鐵鋼ヲ引渡シタル行爲ハ第二條ノ違反トシテ之ヲ處罰シ得ズ (刑事局長、一三年九月一六日通牒、雜誌一六卷、一〇號、九五頁)

銅使用制限規則

●銅使用制限規則ニ於ケル「スキッチボード」スキッチボードトハ配電盤ニ於ケル盤其ノモノ（埋込型點滅器又ハ同型接續器用フラツシユブレイト及露出型點滅器用カバーヲ含ム）ヲ謂フ（刑事局長、一三年九月一六日通牒、雜誌一六卷一〇號、九六頁）

輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律及之ニ基ク商工省令

●輸出入品等ニ關スル臨時措置法及各種省令ニ關スル通牒

一、問 綿製品ノ製造制限ニ關スル件附則、綿製品ノ加工制限ニ關スル件附則ニ所謂仕掛中ノモノノ意義如何

答 商工省ノ解釋左ノ通

綿製品ノ製造制限ニ關スル件附則中ニ所謂仕掛中ノモノハ

綿絲ニ在リテハ 混綿中ノモノヨリ

綿織物ニ在リテハ 整經中又ハ製織準備工程トシテ総糊中ノモノヨリ又併木綿ニ在

リテハ經絲ノ緋絲染中ノモノヨリ

編成用原絲ノ卷返シ中ノモノヨリ

綿莫大小ニ在リテハ

ヲ謂ヒ 綿製品ノ加工制限ニ關スル件附則中ニ所謂仕掛中ノモノトハ

絲ノ染ニ在リテハ 精練ヲ行フモノニ在リテハ精練中ノモノヨリ、精練ヲ行ハサ

ルモノニ在リテハ染色中ノモノヨリ

絲ノ晒ニ在リテハ 精練中ノモノヨリ

撚絲ニ在リテハ 撚絲機ニ掛カレルモノヨリ

織物ノ染、晒ニ在リテハ 生地ノ縫合セテ了シタルモノヨリ

絲、織物又ハ綿莫大小ヲ原材料トスル製品ノ製造ニ際シ絲、織物又ハ綿莫大小ニ裁斷其

ノ他ノ加工ヲ施ス場合ニ在リテハ加工ノ第一工程（例ヘハ裁斷、貼合セ等）ヲ了シタル

モノヨリヲ謂フ

二、問 甲及乙ヲ組合員トスル民法上ノ組合アリ、從業者カ其ノ業務ニ關シ臨時措置法ニ違反

スル罪ヲ犯シタル場合ニ於ケル甲、乙ノ責任如何、又組合員ノ一人タル乙カ單獨ニ其ノ

業務ニ關シ同法ニ違反スル罪ヲ犯シタル場合ニ於ケル甲、乙ノ責任如何

答 前段ニ付テハ甲及乙共ニ責任ヲ負ヒ後段ニ付テハ乙ノミ責任ヲ負フモノト解ス

三、問 臨時措置法第七條ニ基キ法人又ハ人カ其ノ從業者ノ違反行爲ニ因リ處罰セラルル場合

法人又ハ人ノ罪ニ關スル土地管轄如何

答 土地管轄ハ

輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律及之ニ基ク商工省令

(イ) 法人ニ付テハ主タル事務所ノ所在地又ハ從業者ノ違反行爲ノアリタル地
(ロ) 人ニ付テハ住所、居所若ハ現在地又ハ從業者ノ違反行爲ノアリタル地ニ依ルモノ
トス

四、問 臨時措置法第七條ノ適用關係ニ付甲ヲ營業主(人又ハ法人)トシ乙、丙ヲ其ノ從業者

トスレハ左ノ場合ニ於テ甲ハ乙、丙ノ違反行爲ニ付テ如何ナル責任ヲ負フヤ

(イ) 乙ノ罪カ連續犯又ハ牽連犯ナルトキ

(ロ) 乙ノ罪カ併合罪ノ關係ニ在ルトキ

(ハ) 乙ノ罪カ連續犯ニシテ丙ノ罪モ亦連續犯ナルトキ

(ニ) 乙ノ罪カ併合罪ノ關係ニアリ丙ノ罪モ亦併合罪ノ關係ニ在ルトキ

答 甲ハ

(イ) ノ場合ニ於テハ連續犯又ハ牽連犯ノ責任ヲ負フ

(ロ) ノ場合ニ於テハ乙ノ數個ノ罪ノ責任ヲ負ヒ併合罪ノ規定ノ適用ヲ妨ケス

(ハ) ノ場合ニ於テハ乙ノ連續犯及丙ノ連續犯ノ責任ヲ負ヒ併合罪ノ規定ノ適用ヲ妨ケ

ス

(ニ) ノ場合ニ於テハ乙ノ數個ノ罪及丙ノ數個ノ罪ノ責任ヲ負ヒ併合罪ノ規定ノ適用ヲ

妨ケス

五、問 物品販賣價格取締規則ニ依リテ定メラレタル販賣價格カ地方ニヨリ差異アル場合隔地

者間ノ賣買ニ於ケル販賣價格ハ何レノ地ヲ標準トシテ決スヘキヤ

答 當該取引ニ於ケル販賣者ノ營業所所在地ノ販賣價格ニ依ルヘキモノト解ス

六、問 綿製品ノ販賣制限ニ關スル件施行前綿製品ノ卸賣ヲ爲シ之ヲ運送業者ニ託シテ發送ヲ

了シタルニ該商品ハ同令施行後商工大臣ノ指定シタル者以外ノ相手方ニ到達シ相手方之

ヲ受領シタリ此ノ場合販賣者ノ行爲ハ同令違反トナルヤ

答 違反トナラサルモノト解ス

七、問 揮發油販賣業者カ揮發油ヲ賣渡ス場合ニ於テ買受人ヨリ豫メ一ヶ月分ノ購買券ノ前渡

シヲ受ケ販賣ノ都度現實ニ購買券ト引換フルコトナクシテ揮發油ヲ賣渡ス行爲ハ揮發油

及重油販賣取締規則第二條ノ違反トナルヤ

答 違反トナラサルモノト解ス

八、問 船舶用トシテ重油ヲ使用スル丙カ其ノ船舶ノ常繫地タル甲港ニ於ケル重油販賣業者A

ニ對シ一ヶ月分ノ重油購買券ヲ取纏メ前渡シヲ爲シ置キタルカ其ノ船舶カ乙港ニ入港シ

タル際丙ハ乙港ニ於ケルAト取引關係ヲ有スル重油販賣業者Bニ對シ購買券ハAニ前渡

シヲ爲シアル旨ヲ告ケタル上Bヨリ購買券ト引換ニ非スシテ重油ヲ買受ケタリ、此ノ場

合ノ賣渡行爲ハ揮發油及重油販賣取締規則第二條ノ違反トナルヤ

答 違反トナルモノト解ス (刑局事長通牒、一三年一〇月二一日、雜誌一六卷、八四頁)

●輸出入品等ニ關スル臨時措置法及各種省令ニ關スル通牒

一、問 輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律(以下臨時措置法ト略稱ス)ニ基ク各種省

令ニ於テ其ノ施行時期ニ關シ(本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス)ナル定アル場合當該省

令ハ如何ナル時期ヨリ其ノ適用アルモノト解スヘキヤ

答 當該省令ノ公布セラレタル日ノ午前零時ヨリ適用アルモノト解ス

輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律及之ニ基ク商工省令

二、問 臨時措置法第四條中ノ輸出又ハ輸入ヲ爲サントスル行爲ハ輸出又ハ輸入ノ未遂ノミヲ謂フヤ或ハ更ニ其ノ豫備ノ課程ヲモ包含スルヤ

答 輸出又ハ輸入ノ未遂ノミナラス著手ニ接著スル豫備ノ行爲ヲモ包含スルモノト解ス

三、問 臨時措置法第五條ノ場合ニ刑法第十九條ノ適用アリヤ

答 適用アルモノト解ス

四、問 臨時措置法第六條後段ノ虛偽記載罪ハ法定記載事項ノ虛偽記載ノミニ限ルヤ

答 法定記載事項ノ虛偽記載ノミニ限ラサルモノト解ス

五、問 臨時措置法第七條ノ適用關係ニ付甲ヲ營業者(人又ハ法人)乙、丙ヲ其ノ從業者トスレハ左ノ場合甲ハ如何ナル責任ヲ負フヘキヤ

(イ) 乙、丙カ共犯ナル場合(共同正犯、教唆、幫助ノ關係ニ在ル場合)

(ロ) 乙、丙カ各獨立シテ違反行爲ヲ爲シタル場合

答 甲ハ(イ)ノ場合ニ於テハ正犯一罪ノ責任ヲ負ヒ(ロ)ノ場合ニ於テハ乙ノ罪及丙ノ罪ニ付各責任ヲ負フモノト解ス

六、問 金使用規則(昭和十二年大藏省令第六十號)ハ臨時措置法ニ基クモノナリヤ

答 産金法(昭和十二年法律第五十九號)ニ基クモノトス

七、問 綿製品ステープルファイバー等混用規則施行當時同規則第二條第一項ニ違反シタル行爲ハ同規則廢止後(綿製品ノ製造制限ニ關スル件附則ニ依リ廢止)ニ於テモ仍之ヲ處罰シ得ルヤ

答 所問ノ場合ニ於テハ處罰シ得ルモノト解ス

八、問 綿製品ステープルファイバー等混用規則第三條ノ輸出品又ハ輸出品ノ原料若ハ材料ニ用ウルモノトシテ製造シタル綿製品トハ同規則施行後ノ製造品ノミニ限ルヤ

答 同規則施行後製造セラレタル綿製品ノミニ限ルモノト解ス

九、問 綿絲配給統制規則第三條又ハ第四條ノ場合ニ於テ割當票ハ綿絲ノ引渡ヲ受ケ又ハ引渡ヲ爲ス迄ニ之カ交付ヲ爲シ又ハ交付ヲ受クルヲ以テ足ルヤ

答 割當票ハ綿絲ノ引渡ヲ受ケ又ハ引渡ヲ爲ス迄ニ之カ交付ヲ爲シ又ハ交付ヲ受クルヲ以テ足ルモノト解ス

十、問 自ラ織機ヲ使用セス他人ニ對シ綿絲ヲ供給シ賃織セシムルヲ專業トスル者ハ綿絲配給統制規則ニ所謂工業者ニ該當スルヤ

答 工業者ニ該當スルモノト解ス

十一、問 綿絲配給統制規則ニ所謂工業者ハ綿絲販賣價格取締規則ノ適用上消費者ト認ムヘキヤ

答 消費者ト認ムヘキモノトス

十二、問 工業者カ綿絲配給統制規則ニ依リ他ニ正當ニ交付セラレタル割當票ヲ讓受ケ之ヲ以テ綿絲ヲ買受ケタルトキハ之ヲ處罰シ得ルヤ

答 綿絲配給統制規則第三條違反トシテ處罰シ得ルモノト解ス

十三、問 工業者ヲ當事者トセサル綿絲ノ賣買(所謂仲間取引)ニ於テ賣買當事者カ其ノ綿絲カ窮極ニ於テ割當票ト引換ニ非スシテ工業者ニ對シ販賣セラルコトヲ認識シナカラ賣買ヲ爲シ且其ノ綿絲カ結局割當票ト引換ニ非スシテ工業者ニ對シ販賣セラレタル場合

輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律及之ニ基ク商工省令

右賣買當事者ヲ綿絲配給統制規則第三條又ハ第四條違反ノ正犯又ハ從犯トシテ處罰シ得ルヤ

十四、問 所問ノ場合ニ於テハ綿絲配給統制規則第四條違反ノ從犯トシテ處罰シ得ルモノト解ス
答 綿布製造業者カ賃織業者ニ對シ綿絲ヲ供給シテ綿布ノ賃織ヲ爲サシムル場合織リ殘リノ絲(所謂出絲)ハ從來賃織業者ノ所有ニ歸スル慣習アリ、而シテ右供給セラレタル綿絲カ工業者タル綿布製造業者ニヨリ綿絲配給統制規則ニ基キ割當票ト引換ニテ買受ケラレタルモノナルトキ右賃織業者カ右出絲ヲ更ニ他ノ工業者ニ販賣スルニ付テハ再ヒ割當票ノ引換ヲ必要トスルヤ

答 引換ヲ必要トスルモノト解ス

十五、問 綿絲配給統制規則ニ依ル割當票ハ工業組合法第四十三條ニ所謂證票ニ該當スルヤ
答 工業組合法第四十三條ニ所謂證票ニ該當セサルモノト解ス

十六、問 綿製品ノ販賣制限ニ關スル件施行後ニ於テ工業者カ割當票ト引換ニ非スシテ綿絲ヲ買受ケタル場合ニ綿絲配給統制規則第三條ノ適用アリヤ
答 綿絲配給統制規則第三條ノ適用アルモノト解ス

十七、問 昭和十三年六月二十八日以前綿絲配給統制規則ニ違反シ割當票ト引換ニ非スシテ綿絲ヲ買受ケタル工業者ハ綿製品ノ販賣制限ニ關スル件施行後ニ於テモ同規則第三條違反トシテ之ヲ處罰シ得ルヤ
答 處罰シ得ルモノト解ス

答 處罰シ得ルモノト解ス

十八、問 綿製品ノ販賣制限ニ關スル件ニ違反シ綿絲ヲ販賣スル場合ニ於テモ仍綿絲販賣價格

取締規則ノ適用アリヤ

答 綿絲販賣價格取締規則ノ適用アリ、此ノ場合ニ於テハ刑法第五十四條第一項前段ヲ適用シテ處斷スヘキモノトス

十九、問 綿製品ノ加工制限ニ關スル件ニ違反シ昭和十三年商工省令第七十號別表ニ掲ケサル綿製品ヲ加工シタルモノハ昭和十三年七月二十九日以後ニ於テモ仍之ヲ處罰シ得ルヤ
答 處罰シ得ルモノト解ス

二十、問 ゴム配給統制規則第五條ノ場合ニ於テゴム購入票ハゴムノ引渡ヲ受クル迄ニ交付スルヲ以テ足ルヤ
答 ゴム購入票ハゴムノ引渡ヲ受クル迄ニ交付スルヲ以テ足ルモノト解ス (刑事局長通牒、一三年九月一九日、雜誌一六卷、一一號、八四頁)

●輸出入品等ニ關スル臨時措置法及各種省令ニ關スル通牒

一、問 綿製品ノ製造制限ニ關スル件ニ違反スル罪及綿製品ノ加工制限ニ關スル件ニ違反スル罪ノ成立時期如何
答 製造又ハ加工ニ著手セハ犯罪成立ス

二、問 物品販賣價格取締規則第一條ニ所謂「商工大臣ノ指定スル年月日ニ於ケル販賣價格」トハ其ノ當日ニ於ケル一般市價ヲ謂フヤ或ハ各販賣者ノ販賣價格ヲ謂フヤ
答 各販賣者ノ販賣價格ヲ謂フモノト解ス

三、問 物品販賣價格取締規則第一條ニヨリ商工大臣ノ指定スル年月日ニ於ケル販賣價格若ハ商工大臣地方官カ指定シタル販賣價格又ハ綿絲販賣價格取締規則人造絹絲販賣價格取締規則

輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律及之ニ基ク商工省令

縮規則、ステープルファイバー及ステープルファイバー絲販賣價格取縮規則毛絲販賣價格取縮規則ニヨリ定メラレタル最高價格ヲ超エサル對價ヲ以テ販賣スル場合ニ仍暴利ヲ得ルヲ目的トスル賣買取縮ニ關スル件第四條ニ該當スルコトアリヤ

答 該當スルコトアルヘシ

四、問 綿絲配給統制規則ニ依ル割當票ヲ賣買スル行爲ハ之ヲ處罰シ得サルヤ

答 割當票ノ賣買ハ之ヲ禁止スル規定ナキモ工業者カ賣買セラレタル割當票ニ依リ綿絲ヲ買受ケタル場合ニ於テハ右割當票ヲ賣渡シタル者ハ右工業者ノ綿絲配給統制規則第三條違反ノ罪ノ共犯トシテ處罰シ得ル場合アルヘシ

五、問 揮發油及重油販賣取縮規則施行前ノ販賣契約ニ基キ同規則施行後引渡ヲ爲ス場合右引渡

ハ購買券ト引換フルヲ要スルヤ

答 購買券ト引換フルコトヲ要ス

六、問 臨時措置法第七條ノ適用關係ニ付人(營業主)カ刑事未成年者ナル場合ト雖モ仍其ノ

從業者ノ行爲ニ付責任ヲ負フヘキモノト解スヘキヤ

答 刑事未成年者ナル場合ト雖仍責任ヲ負フヘキモノトス

七、問 物品販賣價格取縮規則ニ依リ定リタル販賣價格ヲ超ユル對價ヲ以テ物品ヲ販賣シタル

場合ニ於テ其ノ對價トシテ取得シタル物ヲ沒收シ得ルヤ

答 對價トシテ取得シタル物全部ヲ沒收シ得ルモノト解ス

八、問 揮發油又ハ重油ノ販賣業者カ販賣ノ目的ヲ以テ買受ケタル揮發油又ハ重油ヲ自家用ト

シテ消費シタルトキハ之ヲ處罰シ得ルヤ

答 處罰シ得サルモノト解ス

九、問 綿絲配給統制規則ニ依ル割當票ハ橫領罪ノ目的物タリ得ルヤ

答 橫領罪ノ目的物タリ得ルモノト解ス

十、問 鐵網ヲ使用スル事業ヲ營ム者カ鐵網割當證明書ト引換ニ非スシテ事業用ノ鐵網ヲ購入

シタルトキハ鐵網配給統制規則第三條第一項ノ違反トシテ之ヲ處罰シ得ルヤ

答 處罰シ得サルモノト解ス

十一、問 購買券ト引換ニ非スシテ揮發油又ハ重油ヲ買受ケタル者ハ揮發油及重油販賣取縮規

則第六條第一項ノ違反トシテ之ヲ處罰シ得ルヤ

答 處罰シ得サルモノト解ス (刑事局長通牒、一三年九月三〇日、雜誌一六卷、一一號、八

七頁)

石川縣令自動車取締細則

●石川縣令自動車取締細則ト自動車運轉事業免許拒否處分

案スルニ原告カ本訴ニ於テ取消ヲ求ムル自動車運輸事業ノ免許拒否處分ヲ以テ違法ト爲シ之カ取消ヲ宣告スルト共ニ被告ニ對シ免許ヲ爲スヘキコトヲ命センカ爲ニハ少クトモ先ツ前記免許拒否處分當時ノ法令ニ照シ免許ノ要件タル事項カ該處分當時存在シタルコトヲ要スルハ行政訴訟ノ本質ニ鑑ミ當然ノ歸結ナリト謂ハサル可カラス之ニ反スル原告ノ主張ハ認容スヘキ限ニア

ラス仍テ進テ審案スルニ檢證調書(昭和八年九月二十七日施行シタル檢證ニ付作成セラレタル調書)ニ於ケル(イ)係爭原告出願第一路線(中略)檢證圖(1)天神町二丁目三番地先路面幅員十二尺三寸(2)同町同十四番地先同八尺九寸(中略)(4)材木町六丁目一番地先(道路ノ交叉點)路面幅員十三尺一寸(中略)(5)東馬場町此ノ附近ハ材木町通ニ比シ路面ノ幅員少シク廣キ部分多キモ全體的ニハ其ノ程度近似シタル狀態ニシテ車馬ノ避讓困難ト認ム(中略)

(10)長町五番町八番地先(聖靈病院入口橋ノ所)路面幅員八尺五寸右箇所ハ此ノ附近ニ於ケル最モ狭キ部分ト認メタリ此ノ程度乃至幅員十尺以内ト認メラル箇所ハ(10)前後ニ於テ約二町乃至二町半連續セリ(中略)(ロ)係爭原告出願第二路線(中略)檢證圖(13)主馬町廣町十五番地先路面幅員十尺六寸此ノ附近沿道一帶ハ被告說明ノ如ク兩側勤人向小住宅櫛比ス(14)新堅町一丁目一〇七番地先路面幅員六尺八寸(15)同七五番地先同八尺四寸(16)同三九番地先同九尺右三地點附近沿道ハ小住宅連續シ其ノ間ニ被告說明ノ如ク雜貨、日用品、食料品、吳服等ノ小賣商ノ店舗介在セルヲ認メタリ(17)堅町新堅町(片町油屋小路間)右區間ハ路面特ニ狹隘ニシテ其ノ幅員八尺乃至九尺ニ過キス兩側ニハ被告說明ノ如ク各種小賣商ノ店舗連續シ所謂裏町街トシテ繁榮セルモ店頭ノ飾臺ヲ出シ或ハ手車自動車ヲ駐ムル者多ク乗用自動車ニテモ漸ク通過シ得ルニ止マリバスノ行交ヒハ殆ト不能ニシテ單車通過スルノミニテモ頗ル困難ナリト認メタル(18)木倉町三十六番地先路面幅員十一尺七寸兩側ニハ小賣店櫛比シ其ノ狀況ハ堅町ニ於ケルト大體同一程度ナリト認メタリ(19)横傳馬町一七番地先路面幅員九尺一寸(中略)(20)寶船寺町八六番地先路面幅員八尺六寸(21)同町二番地先同九尺四寸右兩地

點附近三、四町ノ間沿道兩側ハ小商店街ニシテ路面幅員狭クバスノ行交ヒ殆ト不能ト認メラレ

乗用自動車ニテモ通過漸クニシテ車馬トノ避讓ニ困難多シ(22)及(23)附近路面ノ狀態ハ右(20)(21)附近ト同一程度ニシテ沿道兩側ハ住宅大部分ニシテ其ノ間ニ小賣商店介在スルヲ認ム(中略)(28)ニ被告說明ノ如ク乗用自動車ニテモ漸ク通過スル狭キ部分約三十間アリ(中略)

(30)六番丁市電氣局前地先路面幅員十一尺三寸(31)下本多町六番町一番地先同十尺(中略)

(二)係爭原告出願第二路線(中略)(38)宗叔町二番町二七番地先路面幅員九尺八寸(39)同町二〇番地先同十尺三寸(40)附近ハ路面幅員約十二尺ニシテ交通稀薄ナリ(中略)(43)並木町一〇〇番地先路面幅員十一尺六寸(中略)(44)横山町(番地不詳)地先路面幅員十二尺道路兩側約一町ノ間ニ田圃ニシテ稻成熟シアリ(中略)(45)賢坂辻通二六番地先路面幅員十一尺七寸(中略)(46)附近ハ被告說明ノ如ク偕行社其ノ他陸軍關係ノ公衙又ハ官舎街ニシテ一般ノ交通量ハ特ニ稀薄ナル狀況ヲ認ム(後略)トノ記載ニ徵スレハ本件免許申請ノ第一、第二並第三路線ニ該當スル道路ニハ路線ニ依ル自動車ノ運行ニ適當ナル幅員ヲ有セサル部分(本件免許拒否處分當時施行ノ石川縣令自動車取締細則第三條參照)尠少ナラサルコトヲ觀取シ得ヘク該道路ノ前示狀況ハ本件免許拒否處分當時ト相違ナキコトハ當事者ノ辯論ノ全趣旨ニ依リ明記セラ

ル所ナリトス次ニ同第四路線ニ該當スル道路ハ其ノ一部分ハ約六間他ノ部分ハ約八間ノ幅員ヲ有スルコト當事者間ニ爭ナキ所ナルヲ以テ路線ニ依ル自動車ノ運行ニ支障ナキモノト認メラ

ルモ同路線ハ延長一哩九分ニ過キサルコト並同路線中横安江町通りノ一小部分ヲ除キタル部分即安江町大通リ以南終點ニ至ル區間ハ其ノ全部ニ亙リ金澤電氣株式會社ノ經營ニ係ル軌道路線並ニ自動車路線ニ該當スルコト檢證圖ニ示ス如クナル事實ニ鑑ミ道路幅員ノ點ニ於テ支障ナキ該道路線ノミニ付本件申請事業ヲ免許經營セシムルモ原告ニ事業成功ノ見込アリト認メ難

ク又他面免許ヲ與フヘキ程度ノ效用ヲ有スルモノトモ認メ難シ然リ而シテ本件拒否處分當時施行ノ大正八年内務省令自動車取締令ニ依レハ本件申請ニ於ケル自動車取締路線ニ該當スル道路カ右省令第二條ニ基ク前記石川縣令自動車取締細則第三條所定ノ幅員ヲ有スルコトカ免許ノ要件タルコト明ナルノミナラス自動車運輸事業ノ性質ニ鑑ミ事業成功ノ見込アルコト並免許ヲ與フヘキ程度ノ效用ヲ有スルコトモ亦當然免許ノ要件ニ屬スルモノト爲ササルヲ得ス然ルニ本件申請ハ前記處分當時ニアリテ道路幅員ノ關係及事業ノ成功並效用ノ點ニ關シ前叙ノ如ク免許要件ヲ欠缺スルモノト謂ハサル可ラス仍テ右處分ヲ取消シ被告ニ對シテ申請事業ノ全部若クハ一部ノ免許ヲ命スヘキコトヲ求ムル本訴ハ既ニ此ノ點ニ於テ理由ナキヲ以テ主文ノ如ク判決ス（行政、一七年一七四號、違法處分ニ關スル訴、一二年一〇月二八日判決、原告松田俊一、訴訟代理人塚本助次郎、被告鐵道大臣、法律新聞四、三〇二號、九頁）

埼玉縣令穀物検査規則

●埼玉縣令穀物検査規則違反ト私法上ノ效力

昭和七年四月二十三日埼玉縣令第三十五號穀物検査規則第三條ニハ「本縣内ニ於テ生産シタル玄米及麥ヲ受渡又ハ移出セムトスル者ハ本則ニ依リ検査ヲ受クヘシ云々」ト規定シ同第二條ニハ「本則ニ於テ受渡ト稱スルハ賣買交換貸借擔保寄託又ハ小作料納付ノ爲本縣内ニ於テ授受スルヲ謂ヒ移出ト稱スルハ本縣外ニ搬出スルヲ謂フ」ト規定シ又同第二十九條ニハ第三條ノ違反行爲ハ「五十圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料」ニ處スヘキ旨ヲ規定スルコト明ナリ斯ノ如ク

同法カ米麥ノ受渡移出ニ付検査ヲ受クルコトヲ命シ之ニ違反スル者ニ對シテ制裁ヲ科スル立法上ノ理由ハ蓋シ粗惡ノ品質ヲ有スル米麥ノ受渡移出ヲ禁止シ其ノ米麥ノ受渡移出ヲ禁止シ其ハ米麥ノ品質ノ改良進歩ヲ企圖セントスル産業行政上ノ政策ニ出ツルモノニ外ナラス從テ同法所定ノ検査ヲ受ケスシテ賣買其ノ他ノ法律行爲ヲ爲スモ當然無効ナルモノト稱スヘキ限リニ在ラス右法律行爲ノ效力如何ハ別ニ私法上ノ問題トシテ之ヲ取扱フコトヲ要シ之ニ付キテハ何等同法ノ關スル所ニ非サルモノト謂ハサルヘカラス然ルニ原審ハ本件ニ付訴外小鷹義隆ト上告人トノ間ノ賣買力其ノ目的物タル麥ノ検査前ニ爲サレタルモノナルコトヲ認定シ之ヲ以テ直ニ同法違反ノ無効行爲ナリト速斷シ去リタルハ同法ノ解釋適用ヲ誤リタル不法アルモノト謂フヘシ（大審院四民、一二年（オ）一八七四號、強制執行異議事件、一三年三月三〇日判決、上告人森田福本、訴訟代理人中村倉之助、被上告人神戸順也、訴訟代理人長島卯十郎、法律新聞四、二九四號、一六頁）

大阪市條例第一號

●入夫婚姻ニ因ル家督相續ト大阪市歩一稅

●課稅無能力者ニ對スル課稅處分ノ效力

●地方稅ニ關スル法律施行後ト大阪市歩一稅（面子を保つた大阪市）

被控訴人カ昭和二年九月十九日女戸主葛谷ユカト入夫婚姻ヲ爲シ同人ノ家督ヲ相續シタルコト及控訴人カ被控訴人ニ對シ被控訴人ノ右家督相續ニ因ル土地建物ノ取得ニ付明治二十八年四月

十二日大阪市條例第一號特別稅步一稅ニ關スル細則第四條ニ基キ步一稅ヲ賦課シ被控訴人ハ昭和六年八月六日及同年八月十四日ノ二回ニ合計金二千三百五十一圓二十九錢ヲ納付シタルコトハ當事者間爭ナキトコロナリ、被控訴人ハ右大阪市條例第四條ニハ「步一稅ハ土地又ハ建物賣買讓渡（家督相續即戸主ノ死亡若クハ隱居ニヨリ跡相續ヲ爲ス場合ヲ除ク）ノ節其ノ土地建物ニ對シ價格六十分ノ一ヲ賦課シ其ノ買得者又ハ讓受者ヨリ徵收ス」トアリテ其ノ所謂「家督相續」中ニハ女戸主ノ入夫婚姻ニ因ル家督相續ノ場合ヲモ包含スルカ故ニ之ニ因ル土地建物ノ取得ニハ步一稅ヲ課スルコト能ハサルモノナルニ拘ラス之ニ反シテ爲サレタル本件賦課處分ハ課稅無能力者ニ對シテ爲シタル當然無効ノ行政行爲ナリト主張スルヲ以テ按スルニ、凡ソ課稅無能力者ニ對スル課稅處分ハ其ノ無能力者タルコトカ客觀的ニ明白ナル場合ニ於テハ當然無効ナリト謂ハサルヘカラサルモ其ノ果シテ無能力者ナルヤ否ヤ客觀的ニ明白ナラスシテ當該行政廳ハ認定ヲ待テ始メテ定ムルヘキ場合ニハ其ノ認定ハ正當トシテ推定セラレ從テ本來能力ヲ有セサル者ト雖能力者ト認定セラレ之ニ對シテ其ノ效果ヲ生セシムルカ爲ニ行ハレタル行政行爲ハ尙有效タルコトヲ失ハサルモノト解スルヲ相當トスヘキトコロ本件ニ於テ前記大阪市條例第四條ニ依レハ「步一稅ハ土地又ハ建物賣買讓與（家督相續即戸主ノ死亡若クハ隱居ニヨリ跡相續ヲ爲ス場合ヲ除ク）ノ節其ノ土地建物ニ對シ價格六十分ノ一ヲ賦課シ其ノ買得者又ハ讓受者ヨリ徵收ス云々」トアルヲ以テ戸主ノ死亡及隱居ヲ原因トスル家督相續ニ因ル土地建物ノ所有權ノ取得ニ對シ步一稅ヲ課スヘカラサルコトハ明瞭ニシテ何等疑義ヲ挿ム餘地ナシト雖右除外例タル所謂家督相續中ニハ女戸主ノ入夫婚姻ニ因ル家督相續ノ場合ヲモ包含シ從テ斯ル家督相續ニ因ル土建建物ノ取得ニ對シ步一稅ヲ課スルコトヲ得サルモノナリトノコトハ該法規ノ明文

上必スシモ一見明瞭ナリト謂フコト能ハサルノミナラス、本件步一稅ニ關スル細則制定當時ニ於テハ舊民法ハ既ニ公布セラレ家督相續ノ原因ニ付其第二百八十七條ニ「家督相續トハ戸主死亡又ハ隱居ニ因ル相續ヲ謂フ」ト規定シ入夫婚姻ヲ家督相續ノ原因ト爲ササリシモ舊民法ハ現行民法實施ニ至ル迄遂ニ施行セラレス却テ當時現行ノ明治六年太政官第二百六十三號達ニ「婦女子相續ノ後ニ夫ヲ迎ヘ又ハ養子致シ候ハ直ニ其ノ夫又ハ養子ニ相續可相讓事」ト定メラレ又當時一般ニ入夫婚姻ニ因リ女戸主ハ戸主權ヲ失ヒ入夫カ戸主ト爲ル慣習存在シタルニモ拘ラズ右條例第四條ノ除外例中ニ此ノ入夫婚姻ニ因ル家督相續ノ場合ヲ特記セス其後明治三十一年七月十六日現行民法施行セラルルニ至リ入夫婚姻モ家督相續ノ原因ノ一トシテ明定セラレタルモ前示細則第四條ノ除外例ハ何等改正セラレサリシ事實並成立ニ爭ナキ乙第一號證乃至第六號證ニ當審證人片桐山雄ノ證言ヲ綜合シテ認メ得ヘキ控訴人大阪市ニ於ケル步一稅ナル稅制ハ古ク徳川時代ニ起源シ爾後前記條例ノ制定セララルルニ至ル迄繼續シテ廣ク土地家屋ノ賣買讓與並相續等ニ因ル所有權移轉ノ場合ニ當該不動産ノ取得者ニ對シ之ヲ課シ來リタルカ（但明治二十二年ヨリ明治二十五年迄ハ土地家屋ノ賣買ノ場合ノミニ限リ課ス）明治二十八年前掲步一稅ニ關スル條例實施セラルルニ及ヒ爾來現行民法施行以前ハ勿論其ノ施行後ト雖モ昭和五年十二月訴外野々村亮吉異議申立アルニ至ル迄三十有六年ノ長年月ニ亘リ入夫婚姻ニ因ル家督相續ノ場合ハ叙上ノ除外例ニ包含セラレストシテ步一稅ノ賦課徵收ヲ爲シ來リ此間幾多ノ納稅者ニ於テ何等ノ異議ヲモ留メサリシモノニシテ又明治四十二年一月大阪市會ニ於テ遺產相續ニ因ル土地建物取得ノ場合ニ步一稅ノ課稅ヲ免除スヘキ建議アリタルモ家督相續ニ因ル不動産取得ニ對シテハ戸主ノ死亡又ハ隱居ノ場合ニ限リ步一稅ヲ免除シ爾餘ノ場合ハ之ヲ免除セサルカ故ニ遺

產相續ノ場合ニ歩一稅ヲ免除スルトキハ之ト不權衡ヲ見ルニ至ルヘシトノ理由ヲ以テ右建議案ヲ否決シタルカ此場合市會ニ於テモ入夫婚姻ニ因ル家督相續ノ場合ヲ步一稅課稅ノ除外例ト爲ササリシコトニ關シ何等異議ナカリシ事實等ニ徴スルモ入夫婚姻ニ因ル家督相續ノ場合カ前示步一稅ニ關スル細則第四條ノ除外例ニ包含サルルヤ否ヤ即チ被控訴人カ步一稅課稅ノ義務無能力者ナルヤ否ヤハ客觀的ニ明白ナラサルモノト論斷セサルヲ得ス從テ假令入夫婚姻ニ因ル家督相續カ前示除外例ニ包含セラルル結果被控訴人ハ步一稅課稅義務能力ヲ有セサル者ニシテ之ニ對スル控訴人ノ賦課處分カ違法ナリトスルモ該行政行爲ハ當然無効ニ非サルヲ以テ權限アル官廳ニ依リ取消サレサル限リ尙有效ニ存續スルモノト謂ハサルヘカラス

尙被控訴人ハ相續ニ因ル土地建物ノ取得ニ對スル賦課ハ相續ノ時ヲ標準ト爲スヘキニアラスシテ現實ニ不動産ノ所有名義變更登記手續ヲ爲シタル時ヲ以テ權利移轉ノ時期ト爲シ此ノ時ヲ標準トシテ賦課スヘキモノナルトコロ前記步一稅ニ關スル細則ハ昭和四年三月三十一日限り廢止セラレタルニ拘ラス控訴人ハ被控訴人カ右細則ノ廢止後ナル昭和六年四月二十八日ニ爲シタル所有權移轉登記ノ時ヲ標準トシテ本件步一稅賦課處分ヲ爲シタルモノナルカ故ニ該行政處分ハ既ニ廢止セラレタル法ヲ適用シタル當然無効ノモノナリト主張シ被控訴人ノ家督相續ニ因ル不動産取得ノ所有權移轉登記手續カ被控訴人主張ノ日時ニ爲サレタルコトハ控訴人ノ爭ハサルトコロナレトモ昭和四年五月二十九日大阪市條例第十六號特別稅步一稅ニ關スル細則廢止ノ件ニ依レハ「明治二十八年大阪市條例第一號特別稅步一稅ニ關スル細則ハ昭和三年度分限り之ヲ廢止ス但シ昭和四年三月三十一日迄ニ土地又ハ建物ノ賣買讓與ヲ爲シタルモノニ付テハ仍舊條例ニ依ル」トアルヲ以テ右廢止ノ條例中但書ノ經過の規定ニ依リ昭和四年三月三十一日迄ニ相

續(除外例ヲ除ク)ニ因リ土地又ハ建物ノ所有權ヲ取得シタル分ニ付テハ控訴人大阪市ノ步一稅賦課權發生スルモノナルコト明ナルモ唯步一稅ノ課稅標準ニ付前示步一稅ニ關スル細則第四條但書ニ「價格金ハ登記料ヲ納メタル賣買代價又ハ登記料ヲ納メタル時ノ價格ニ依ル」ト定メラレタルヲ以テ當該不動産ノ所有權移轉登記アル迄ハ賦課權者ニ於テ其ノ課稅標準ヲ定ムルヲ得ス從テ其ノ時迄賦課權ヲ行使スルコトヲ得サルニ止マルモノト解スヘキトコロ被控訴人カ昭和二年九月十九日入夫婚姻ニ因ル家督相續ノ結果土地建物ノ所有權ヲ取得シタルコト前說示ノ如クナル以上控訴人カ右細則ノ廢止後ニ爲サレタル所有權移轉登記ニ依リ步一稅賦課處分ヲ爲シタリトテ何等違法ニ非サルコト言フ俟タス

更ニ被控訴人ハ土地建物ノ取得ニ對スル課稅ハ昭和二年三月三十一日大阪府令第三十六號大阪府府令賦課規則第四章營業稅及雜種稅第二十七條第一項第八號不動産取得稅トシテ賦課セララルコトトナリ而モ該規則ニ關シテハ大正十五年十一月二十七日內務大藏省令地方稅ニ關スル法律施行規則第十二條第一項第一號ノ「家督相續又ハ遺產相續ニ因ル不動産取得ニ對シテハ雜種稅ヲ課スルコトヲ得ス」トノ規定アルニ依リ雜種稅ナル不動産取得稅ハ家督相續又ハ遺產相續ノ場合從テ本件ノ如キ不動産取得ニ對シテ賦課スルコト能ハサルモノナリト主張スレトモ右大阪府令大阪府府令賦課規則及內務大藏省令地方稅ニ關スル法律施行規則ハ地方稅ニ關スルモノナレハ其ノ施行後ト雖モ成文ヲ以テ特別稅ニ關スルモノタル本件步一稅細則カ廢止セラレス又廢止セララルモ其ノ廢止ニ關スル規定ニ依リ仍右細則カ適用サルル場合ナル限り不動産取得ニ對シテ適用シ大阪市特別稅步一稅ヲ賦課スルモ違法ニ非サルコト勿論ニシテ本件步一稅ノ賦課カ右細則ノ廢止後ニ係ルモノナルニ拘ラス其ノ違法ニ非サル理由ハ前段說示ノ如クナル

ヲ以テ被控訴人ノ右主張ハ理由ナシ左レハ控訴人ノ本件一稅賦課處分ニ因ル金員取得ハ法律上ノ原因ニ基クモノナルカ故ニ右賦課處分カ當然無効ノ行政行為ナルコトヲ前提トシ控訴人ノ不當利得ヲ原因トスル請求ハ不當ナルコト論ヲ俟タス

次ニ被控訴人ハ本件課稅ノ根據タル前掲條例第四條ノ一稅賦課ノ除外例タル「家督相續」中ニ女戸主ノ入夫婚姻ニ因ル家督相續ヲモ含マルルヤ否ヤニ付嘗テ控訴人ト訴外人トノ間ニ爭ヲ生シ該係爭事件ニ付賦課徵收ニ先ツ昭和六年六月二十六日大阪府參事會カ控訴人ノ同訴外人ニ對シ爲シタル一稅賦課處分ヲ取消ス旨ノ裁決ヲ爲シ控訴人ハ之ニ不服ナリトシテ行政裁判所ニ出訴シタルモノナレハ控訴人ニ於テ當時行政裁判所ノ判決ノ如何ニ依ル斯ル賦課處分ノ效力ノ有無カ判斷セラルルコトヲ熟知セル次第ナルカ故ニ一稅ノ賦課行為ヲ一時中止シ行政裁判所ノ判決ヲ待チテ然ル後課稅ノ當否ヲ決スルコトコソ善良ナル行政管理者ノ行為ナルニ拘ラス事茲ニ出テス無効ナル賦課處分ニ基キ被控訴人ニ對シ敢テ徵稅シタルハ正ニ故意又ハ過失ニ因リ被控訴人ノ權利ヲ侵害シ之カ爲被控訴人ニ前記金額ニ相當スル損害ヲ被ラシメタルモノナルヲ以テ控訴人ハ被控訴人ニ對シ不法行為ニ基ク損害賠償トシテ右金員支拂ノ義務アリト主張スルヲ以テ按スルニ控訴人ト訴外野々村亮吉トノ間ニ被控訴人主張ノ如ク本件賦課ト同種類ノ賦課徵收事件ニ付爭ヲ生シ該係爭事件ニ付本件賦課徵收ニ先立ツ昭和六年六月二十六日大阪府參事會カ控訴人ノ同訴外人ニ對シ爲シタル一稅賦課處分ヲ取消ス旨ノ裁決ヲ爲シタルモ控訴人ハ之ニ不服ナリトシテ同年七月十八日行政裁判所ニ出訴シタルトコロ行政裁判所ハ同年十月二十七日控訴人ノ右賦課處分ハ違法ニシテ之ヲ取消シタル大阪府參事會ノ裁決ハ正當ナリトノ判決ヲ宣告シタル事實ハ成立ニ爭ナキ乙第一號證ニ依リ之ヲ認メ得ルトコロナルモ本件賦

課處分カ無効ナル行政行為ニ非サルコトハ前説示ノ如クナルハミナラス假令該賦課處分カ違法ハ處分行爲ナリトスルモ凡ソ行政廳ハ自ラ法規ノ解釋ヲ爲シ得ヘキモノニシテ上級行政廳ニ於テ其行政行為ヲ取消ス旨ノ裁決ヲ爲シタルハトテ之ヲ不服トシテ行政裁判所ニ出訴シタル以上該裁決ニ拘束サルルノ理ナキコト論ヲ俟タサルトコロニシテ前示乙第一號證ニ徵スレハ控訴人ハ右事件ニ付自己ノ法規解釋ノ正當ナルヲ信シテ行政裁判所ニ出訴シタルモノナルコトヲ窺知スルニ難カラサルカ故ニ本件一稅賦課行為ニ付控訴人ハ故意又ハ過失ニ因リ被控訴人ノ權利ヲ侵害シタルモノナリトノ被控訴人ノ主張ハ到底首肯スルコト能ハサルトコロナリ從テ不法行為ヲ原因トスル被控訴人ノ請求モ亦理由ナキコト勿論ナリ (大阪控三民、一一年(ホ)三一二號不當利得返還損害賠償請求事件、一三年七月二十九日判決、控訴人大阪市訴訟代理人岡本尙一、被控訴人葛谷一郎、訴訟代理人大江弘次、一三年七月二十九日判決、法律新聞四、三〇六號四頁、判決要錄第二七卷諸法二三七頁、大阪地判決參照)

日滿通商航海條約 南滿洲及東部內蒙古ニ關スル條約

●滿洲國ニ於ケル治外法權ノ本旨 (滿洲國裁判所ニ於テ日本人ヲ被告トセル執行異議ト領事裁判權)

本件上告理由ノ要旨ハ第一點上告人ハ日本人ニシテ上告人ヲ被告トスル訴訟ハ日本國領事裁判權ニ專屬スルモノニシテ執行異議ノ訴訟タルト否トヲ區別スルモノニアラス單ニ原告ナリヤ被

告ナリヤノ形式ヲ以テ區別ノ標準トナスヘキモノナリ、然ルニ原判決ハ執行異議ニ於ケル被告ノ場合ハ領事裁判權ヲ有スル國民ニ對シテモ滿洲國ニ裁判權アリト爲シタルハ誤解ナリト謂フニ在リ、按スルニ大日本帝國カ滿洲帝國内ニ於テ有シタル領事裁判權ヲ撤廢シタル以前ニ於テハ滿洲國ハ日本國國民ノ當事者タル民事事件ニ付キテハ其ノ日本國國民ヲ被告トスルモノニ付キテハ裁判權ヲ有セス滿洲國人ヲ被告トスルモノニ付キテハ之ヲ有シタルモノナルコトハ滿洲國カ其ノ建國ト共ニ承繼シタル日滿通商航海條約第二十條第二十一條並ニ南滿洲及東部內蒙古ニ關スル條約第五條ニ依リ明ナルトコロナリト雖モ、右各條約ニ於テ日本國カ日本國國民ヲ被告トスル民事事件ニ付キ領事裁判權ヲ留保シタル所以ハ全ク當時日本國カ支那從テ後ニ其ノ地位ヲ承繼シタル滿洲國(本件ハ專ラ滿洲國成立後ノ事實ニ關スルヲ以テ以下單ニ滿洲國ニ付キテノミ論ス)ノ司法制度ニ信賴ヲ置カサリシ結果日本國國民ノ私權ハ日本ノ國權ヲ以テ之ヲ保護シ滿洲國司法權ノ發動ニ依リテ左右セラルルカ如キコト無カラシメンコトヲ期シタルモノナルカ故ニ條約ノ保護セントスル實質ハ一ニ滿洲國人ニ依リテ始メラルヘキ訴訟行爲ニ依リテ日本國國民カ私法上ノ利益ヲ發生スルコトアルヘキ受動的立場ニ立ツコトヲ防止セントスルニアリテ從テ滿洲國人ニ依リ日本國國民ノ私權ニ影響スヘキ訴訟行爲カ始メラルルニ當リテハ其ノ行爲カ訴ナル名稱ヲ有スルト否トニ關セス例之假差押假處分ノ如キモノト雖モ滿洲國ノ司法權ノ發動ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ得サル趣旨ナルコト勿論ナリト雖モ元來條約ノ保護セントスルモノハ事日本國國民ノ私權ニ關スルモノナルヲ以テ日本國國民カ自ラ此ノ條約上ノ利益ヲ拋棄シ滿洲國ノ司法權ニ服從スルコトヲ了承シタル場合ニ於テハ假令日本國國民カ滿洲國人ニ對シ受動的立場ニ置カルルトキニ於テモ敢テ其ノ事案ヲ日本國裁判權ノ

下ニ固執スルコトヲ必要トセサルヲ以テ日本國民カ自ラ滿洲國裁判權ノ發動ヲ求メ滿洲國ノ司法權ニ依リ私權ノ伸張ヲ圖リタル場合ノ如キハ其ノ司法權ノ發動ニ關シ滿洲國法カ認メタル防禦或ハ救濟手段ニ關スル限り開ハ總テ滿洲國司法機關ニ依リテ行使セラルルニ至ルヘキハ當然ハ歸結ナリト謂フヘシ今本件ニ付キテ之ヲ看ルニ名ハ執行ニ對スル異議ト謂フモ其ノ能動的立場ニ在ル者ハ滿洲國人ニシテ受動的立場ニ在ル者ハ日本國國民ナルカ故ニ本件ノ處理ハ一見條約上日本國ノ國權ニ依リテ爲サルヘキコトヲ必要トスルカ如シト雖モ事案ハ日本國國民カ滿洲國司法權ニ依リ強制執行ヲ爲シ之ニ對シ滿洲國人カ滿洲國ノ民事訴訟執行規則又ハ強制執行法ニ依リテ認メラレタル救濟手段ヲ以テ其ノ不當ヲ鳴ラサントスルモノニシテ之ヲ防止セントスル目標ハ一ニ滿洲國法ニ基ク強制執行ノ不法ナル遂行ニ在リ從テ訴訟行爲ノ企圖スルトコロハ全ク滿洲國司法權ノ發動カ滿洲國ノ公法ニ照シテ正當ナルヤ否ヤニ關ス即日本國國民ハ當初其ノ私權ノ保護ヲ滿洲國司法權ノ發動ニ依リテ求ムルコトニ依リ自ラ滿洲國ノ司法權ニ服シ來リタルモノナルト共ニ訴訟行爲ノ目的並ニ手段ハ滿洲國執行規定カ右司法權ノ發動ニ關シテ認メタル救濟手段ノ施行ニ外ナラス其ノ救濟カ滿洲國ノ執行法ニ依リ滿洲國ノ司法權ニ依リテ爲サルヘキハ既ニ自然ノ數ニシテ之ヲ日本國領事裁判權ノ下ニ固執スヘキ理由ナキト同時ニ更ニ此ノ如キ事態ヲ此ノ方法ニ依リ救濟セントハ日本國領事ノ爲シ得ヘキコトニアラサルハ尤モ明白ナリト謂ハサルヘカラス論旨ハ如上ノ事理ヲ解セス徒ニ條約ノ文言ニ拘泥シテ原判決ノ正當ノ處置ヲ攻撃スルモノニシテ採用ニ値セス (最高法院涉外庭、康德四年(結)六七一號假差押異議事件、一三年八月二二日判決、上告人安藤長作、訴訟代理人田崎昌亮、被上告人福慶東成記、法律新聞四、三四八號五頁)

對獨平和條約及附屬議定書

●國際情誼上ノ必要ニ基ク賠償ト民事上ノ賠償(アンガウル島事件)(民法七〇九條同項參看)

飲食物用器具取締規則(昭和十一年內務省令第二五號)

●昭和十一年內務省令飲食物用器具取締規則ト樺太ニ於ケル效力

明治四十年三月勅令第三十三號ニ依レハ樺太ニハ樺太廳長官ヲ置キ一般行政事務ニ付テハ內務大臣ノ指揮監督ノ下ニ法律命令ヲ執行セシメタル力故ニ內務大臣カ法律ノ執行ニ關シテ定メタル命令並衛生行政ニ關スル命令ハ當然樺太ニモ行ハレタルモノト解スヘキモノトス而シテ明治三十三年法律第十五號飲食物其ノ他ノ物品取締ニ關スル件ハ明治四十三年三月勅令第二十七號ニ依リ樺太ニ施行セラレタルヲ以テ同法第一條ノ規定ニ準據シ其ノ法律ノ施行ニ付テノ細則的性質ヲ有スル明治三十三年十二月內務省令第五十號飲食物用器具取締規則モ亦樺太ニ施行セララルニ至リタルモノト解スルヲ相當トスサレハ其ノ後樺太廳ハ內務大臣ノ指揮監督ヲ離レタリト雖之カ爲ニ前示取締規則ハ當然樺太ニ施行セラレサルニ至レルモノト斷スヘカラス蓋シ一旦適法ニ行ハレタル法令ハ特ニ廢止セラレ又ハ失效ヲ來スヘキ事情存セサル以上ハ官制ノ改正ニ依リテ必然的ニ其ノ效力ヲ失フヘキ理ナク而モ右取締規則ニ付特ニ叙上ノ如キ事情存セサレハナリ尤モ樺太施行法律特例ヲ一瞥スレハ同特例ニ因リ前示勅令第二十七號ハ廢止セラレタリト

雖是唯不要ニ歸シタル勅令ヲ整理シタルニ過キスシテ之カ爲飲食物其ノ他ノ物品取締ニ關スル法律ノ樺太ニ於ケル施行ニ何等ノ消長ヲ來スヘキモノニアラス從ツテ其ノ法律ニ準據スル前示ノ取締規則ハ猶嚴トシテ樺太ニ施行セララルモノトス然レトモ前記説明ノ如ク內務大臣ノ權限樺太ニ及ハサルニ到リタル以上爾後發セラルル內務省令ノ樺太ニ及ハサルヤ勿論ナルカ故ニ樺太廳カ拓務大臣ノ指揮監督ヲ受クルニ至リタル後ニ發セラレタル昭和十一年七月內務省令第二十五號即右飲食物用器具取締規則ノ改正部分ハ樺太ニ其ノ效力ヲ及ホスヘキモノニアラス從ツテ右內務省令ノ改正アリタルニ拘ラス樺太ニ於テハ依然トシテ右改正前ノ取締規則ノ其ノ效力アルモノト解スヘキモノトス (大審院五刑、一二年(レ)四六〇號、飲食物用器具取締規則違反被告事件、一二年一月六日判決、上告人田中爲次郎、訴訟代理人若泉小太郎、光延豊、法律新聞四、二三五號九頁)

昭和八年大藏省令第十五號(大藏省所管不動産ノ登記ノ囑託ニ付キ官吏指定ノ件)

明治三十五年勅令第五號ニ依リ當省ノ所管ニ係ル不動産登記ノ囑託ニ付テハ左ノ官吏ヲ指定ス

- 警視總監北海道廳官府縣知事、大臣官房會計課長
- 營繕管財局總務部長、營繕管財局出張所長
- 造幣局長、稅關長、稅務監督局長、稅務署長、釀造試驗所長
- 專賣局長、地方專賣局長、專賣局製作所長、專賣局研究所長
- 專賣局試驗場長、內閣印刷局長

昭和八年大藏省令第十五號

●國稅徵收法二三條ノ三ニ於ケル收稅官吏及昭和八年大藏省令一五號ノ官吏ト登記囑託官吏タル地位(國稅徵收法二三條ノ三同項參看)

●無能力者ノ電話加入取消ト電信法一二條(民法七條「精神乖離症(早發性痴癡呆症)ノ認定」參看)

●信託會社ノ清算事務ト監督官廳

信託會社カ株主總會ノ決議ニ因リ解散シタル場合ニ於ケル其ノ清算事務ノ監督官廳ハ大藏省ナリ(非訟事件手續法第三百三十六條以下、信託業法第六條、擔保附社債信託法第十六條、明治三十八年五月大藏省令第三十五號擔保附社債信託法施行細則第二十六條參照) (法曹會、一三
年六月二十九日決議、雜誌一六卷九號九八頁)

諸 法 (終)

附

錄

新 法 律 (第七十四議會)

● 兵役法中改正法律(附則)

昭和十四年法律第一號(三月九日)

● 昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲
公債發行ニ關スル法律(附則)

同 第二號(三月十六日)

● 作業會計法中改正法律(附則)

同 第三號(同上)

● 海軍工廠資金會計法中改正法律(附則)

同 第四號(同上)

● 名古屋帝國大學創設ニ伴フ帝國大學特別會計
及官立大學特別會計ノ關涉ニ關スル法律(附
則)

同 第五號(同上)

● 農業再保險特別會計法(附則)

同 第六號(同上)

● 昭和十二年法律第五十七號中改正法律

同 第七號(同上)

● 大正十四年法律第五十一號中改正法律(附則)

同 第八號(同上)

新法律

● 兌換銀行券整理法中改正法律(附則)

同 第九號(同上)

● 滿洲國ニ於ケル領事館ノ裁判ノ廢止ニ關スル
法律(附則)

同 第十號(三月十七日)

● 人事調停法(附則)

同 第十一號(同上)

人事調停法

第一條 家族親族間ノ紛争其ノ他一般ニ家庭ニ關
スル事件ニ付テハ當事者ハ本法ニ依リ調停ノ申
立ヲ爲スコトヲ得

第二條 調停ハ道義ニ本ツキ温情ヲ以テ其ノ本旨
トス

第三條 調停ノ申立ハ相手方ノ住所地ヲ管轄スル
區裁判所又ハ當事者ノ合意ニ依リテ定ムル區裁
判所ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第四條 裁判所其ノ管轄ニ屬セサル事件ニ付申立
ヲ受ケタルトキハ決定ヲ以テ事件ヲ管轄裁判所
ニ移送スルコトヲ要ス但シ事件ノ處理上適當ト
認ムルトキハ之ヲ他ノ區裁判所ニ移送シ又ハ自
ラ處理スルコトヲ妨ケス

裁判所其ノ管轄ニ屬スル事件ニ付申立テ受ケタルトキト雖モ事件ノ處理上適當ト認ムルトキハ決定ヲ以テ之ヲ他ノ區裁判所ニ移送スルコトヲ得
前二項ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス
第五條 調停ノ申立カ淳風ニ副ハス又ハ權利ノ濫用其ノ他不當ノ目的ニ出ツルモノト認ムルトキハ裁判所ハ其ノ申立テ却下スルコトヲ得
第六條 當事者及利害關係人ハ自身出頭スルコトヲ要ス但シ已ムコト得サル事由アル場合ニ於テハ代理人ヲシテ出頭セシムルコトヲ得
辯護士ニ非サル者前項ノ代理人ト爲ルニハ裁判所ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス
裁判所ハ何時ニテモ前項ノ許可ヲ取消スルコトヲ得
第七條 調停ハ裁判上ノ和解ト同一ノ效力ヲ有ス但シ本人ノ處分ヲ許ササル事項ニ關スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス
第八條 借地借家調停法第二條、第四條ノ二乃至第六條、第八條乃至第十一條第十三條乃至第十五條、第十六條第一項、第十八條乃至第二十三條及第二十六條乃至第三十二條ノ規定ハ本法ノ調停ニ付之ヲ準用ス
第九條 調停委員ハ德望アル者其ノ他適當ト認メ

ラルル者ニ就キ毎年豫メ地方裁判所長ノ選任シタル者又ハ當事者ノ合意ニ依リ選定セラレタル者ノ中ヨリ各事件ニ付調停主任之ヲ指定ス
第十條 調停委員會ヲ開キタル場合ニ於テハ第六條第二項及第三項ニ規定スル裁判所ノ權限ハ調停委員會ニ屬ス
第十一條 調停委員會第五條ニ規定スル事由アリト認ムルトキハ調停ヲ爲ササルコトヲ得
第十二條 調停委員又ハ調停委員タリシ者故ナク評議ノ顛末又ハ調停主任、調停委員ノ意見若ハ其ノ多少ノ數ヲ漏泄シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス
調停委員又ハ調停委員タリシ者故ナク其ノ職務上取扱ヒタルコトニ付知得タル人ノ秘密ヲ漏泄シタルトキハ三月以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス前項ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス
附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
借地借家臨時處理法中改正法律
同 第十二號(同上)
公證人法中改正法律(附則)
同 第十三號(同上)
朝鮮私設鐵道補助法中改正法律(附則)
同 第十四號(同上)

●森林法中改正法律(附則)

同 第十五號(三月十八日)

●林業種苗法(附則)

同 第十六號(同上)

●昭和十二年法律第八十四號中改正法律(附則)

同 第十七號(三月二十日)

●明治四十五年法律第二十三號中改正法律(附則)

同 第十八號(三月二十三日)

●地方鐵道法中改正法律(附則)

同 第十九號(同上)

●軌道法中改正法律(附則)

同 第二十號(同上)

●朝鮮鐵道株式會社所屬金泉慶北安東間鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律(附則)

同 第二十一號(同上)

●青年學校教育費國庫補助法(附則)

同 第二十二號(三月二十四日)

●鑛業法中改正法律(附則)

同 第二十三號(同上)

●金資金特別會計法中改正法律(附則)

同 第二十四號(三月二十五日)

新法律

●軍用資源秘密保護法(附則)

同 第二十五號(同上)

●北海道拓殖銀行法中改正法律(附則)

同 第二十六號(同上)

●酪農業調整法(附則)

同 第二十七號(同上)

●恩給法中改正法律(附則)

同 第二十八號(三月二十七日)

●昭和十四年度一般會計歲出入財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律(附則)

同 第二十九號(同上)

●昭和七年法律第一號中改正法律(附則)

同 三十號(同上)

●支那事變ニ關スル特別賜金トシテ交付スル爲公債發行ニ關スル法律(附則)

同 第三十一號(同上)

●日本產金振興株式會社法中改正法律(附則)

同 第三十二號(同上)

●明治三十五年法律第四十九號中改正法律(附則)

同 第三十三號(三月二十八日)

- 昭和十三年法律第二十三號中改正法律(附則)
同 第三十四號(同上)
- 臺灣米穀移出管理特別會計法(附則)
同 第三十五號(同上)
- 軍用自動車検査法(附則)
同 第三十六號(同上)
- 裁判所構成法中改正法律(附則)
同 第三十七號(同上)
- 競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律(附則)
同 第三十八號(同上)
- 災害被害者ニ對スル租税ノ減免、徵收猶豫等ニ關スル法律(附則)
同 第三十九號(三月二十九日)
- 地方學事通則中改正法律(附則)
同 第四十號(同上)
- 保險業法改正法律(附則)
同 第四十一號(同上)
- 司法保護事業法(附則)
同 第四十二號(三月三十日)
- 花柳病豫防法中改正法律(附則)
同 第四十三號(同上)

- 昭和十四年法律第二號中改正法律(附則)
同 第四十四號(同上)
- 登録稅法中改正法律(附則)
同 第四十五號(同上)
- 中支那振興株式會社法中改正法律(附則)
同 第四十六號(同上)
- 郵便年金法中改正法律(附則)
同 第四十七號(三月三十一日)
- 支那事變特別稅法中改正法律(附則)
同 第四十八號(同上)
- 臨時利得稅法中改正法律(附則)
同 第四十九號(同上)
- 臨時租稅措置法中改正法律(附則)
同 第五十號(同上)
- 短期現役小學校教員俸給費國庫負擔法中改正法律(附則)
同 第五十一號(四月一日)
- 國境取締法(附則)
同 第五十二號(同上)
- 國債整理基金特別會計法中改正法律(附則)
同 第五十三號(同上)
- 臨時陸軍材料資金特別會計法(附則)
同 第五十四號(同上)

- 有價證券移轉稅法中改正法律(附則)
同 五十五號(同上)
- 關稅定率法中改正法律(附則)
同 第五十六號(同上)
- 昭和七年法律第四號中改正法律(附則)
同 第五十七號(同上)
- 昭和十三年法律第六十四號中改正法律(附則)
同 第五十八號(同上)
- 朝鮮銀行券及臺灣銀行券ノ保證發行限度ノ臨時擴張ニ關スル法律(附則)
同 第五十九號(同上)
- 明治三十九年法律第三十四號中改正法律(附則)
同 第六十號(同上)
- 明治四十二年法律第九號中改正法律(附則)
同 第六十一號(同上)
- 朝鮮事業公債法中改正法律(附則)
同 第六十二號(同上)
- 臺灣事業公債法中改正法律(附則)
同 第六十三號(同上)
- 北海道土功組合法中改正法律(附則)
同 第六十四號(四月四日)

- 工業組合法中改正法律(附則)
同 第六十五號(同上)
- 映畫法(附則)
同 第六十六號(四月五日)
- 著作權ニ關スル仲介業務ニ關スル法律(附則)
同 第六十七號(同上)
- 商法ヲ引用スル條文ノ整理ニ關スル法律(附則)
同 第六十八號(同上)
- 海運組合法(附則)
同 第六十九號(同上)
- 造船事業法(附則)
同 第七十號(同上)
- 船舶建造融資補給及損失補償法(附則)
同 第七十一號(同上)
- 職員健康保險法(附則)
同 第七十二號(四月六日)
- 船員保險法(附則)
同 第七十三號(同上)
- 健康保險法中改正法律(附則)
同 第七十四號(同上)

新法律

- 種馬統制法(附則)
同 第七十五號(四月七日)
- 軍馬資源保護法(附則)
同 第七十六號(同上)
- 宗教團體法(附則)
同 第七十七號(四月八日)
- 寺院等ニ無償ニテ貸付シアル國有財産ノ處分ニ關スル法律(附則)
同 第七十八號(同上)
- 非訟事件手續法中改正法律(附則)
同 第七十九號(四月十日)
- 產金法中改正法律(附則)
同 第八十號(同上)
- 米穀配給統制法(附則)
同 第八十一號(四月十二日)

- 帝國鑛業開發株式會社法(附則)
同 第八十二號(同上)
- 國際電氣通信株式會社法中改正法律(附則)
同 第八十三號(同上)
- 大日本航空株式會社法(附則)
同 第八十四號(同上)
- 大正九年法律第五十三號中改正法律(附則)
同 第八十五號(四月二十日)
- 臨時資金調整法中改正法律(附則)
同 第八十六號(四月二十二日)
- 青年學校令ニ依リ就學セシメラルベキ者ノ就業時間ニ關スル法律
同 第八十七號(四月二十六日)
- 輕金屬製造事業法
同 第八十八號(五月一日)

新法律(終)

法曹日誌

(昭和十三年 自一月 至十二月)

一月

一日○四方拜○警視廳服部刑事部長檢舉件數に因る手當制度を廢止○二日○元始祭○ルーズヴェルト米國大統領上下兩院合同議會で「世界平和の維持には軍備強化こそ急務なり」と歴史的長文の教書朗讀、六日○東大法學部二十一教授東京プリント刊行會にプリントの發賣頒布を禁止通告○近衛、廣田、杉山米内四相會議の結果政府は「支那が反省の眞意を旨示さざる限り帝國は斷乎所期の目的に邁進」する重大聲明を發表、七日滋賀の蒲生銀行襲撃九千二百二十七圓を強奪したギャング捕はる○東大の十一教授陽春三月定年退職(法學部) 杉山直治郎、牧野英一(工學部) 淺川彰三、大河戸宗治、後藤正治、内丸最一郎、平賀讓(文學部) 辻善之助(理學部) 谷津直秀、片山正夫、柴田桂太 ○勅選議員河原田稼吉、加藤敬三郎、河井彌八の三氏決定即日發令八日、○陸軍始大觀兵式○次長檢事岩村通世氏の司法次官轉出に依り廣島檢事長三橋市太郎氏、大審院檢事に横濱檢事正神谷敏行氏、同後任に、大審院檢事秋山要氏、同後任に水戸檢事正西村卯氏、大阪地方次席檢事西堀元道水戸檢事正に異動發令、○京帝

法曹日誌 (一月)

大藏省立案中の明年度三億圓増稅案はうち一億三千萬圓を所得稅最高三割で増徴する○鹽野法相一二一五事件三府一道十三縣の一齊檢舉者四百七十名取調の爲新陣營を整備、十日○大連の有價證券買賣業德泰公司支配人元オリムピツク選手三木義雄社金十二萬八千圓を横領逃走釜山棧橋で捕縛○支那人暴漢ブレナン路を警備中のイタリ兵に爆彈を投ず被害なし○沼田桑田兩部隊復築軍の壘壘洛寧城を占領○兵役法改正案青年學校修了者特例廢止今議會提出の旨閣議決定○男子青年學校義務教育制案提出の旨も閣議決定、十二日○東交大轉向、左翼分子三十餘名を除名○電力管理法今議會提出の運び○伊、埃、洪ロイマ協定國會議終了、オーストリア、ハンガリ兩國はフランコ政權承認と決定進んで防共協定に賛意を表す十三日三信證券株式會社監査役近江横一郎、同社支配人清水重彦兩名取引先より委託を受けた證券約十萬圓を詐取横領した嫌疑で警視廳に檢舉十四日○朝鮮で邪教彌勒教檢舉○モータ船長軍機保護法違反で送局○重井鹿治氏繰上げ當選○佛國シヨータン内閣總辭職○ルブラン佛大統領後繼内閣組織をボネ蔵相に委嘱、十五日陸軍々需監督官令及傷痍軍人保護對策審議會官制の二勅令を公布施行○東

國大學に日本思想史(所謂國體講座)及考古學の二講座新設○愈本年四月から朝鮮に志願兵制施行と決定○ソヴェト聯邦の民族聯邦兩會議第一回合同會議憲法改正案を決定 同國最高會議幹部會に戒嚴令公布の權限を賦與極東に備ふ○米大審院判事にリド氏任命、十六日支那新興政權と國交調整の旨内閣聲明○中華民國臨時政府委員會委員長王克敏氏が重大聲明に即應正式政府の成立を期す、十七日○全國七十餘刑務所の收容者五萬三千餘名の赤心報國は積つて七萬五千圓、陸海軍に各一機獻納○陸海軍では軍需工業動員法を發動、軍需品工場の一部管理を實施○福島縣第二區渡氏線上当選○佛貨東京市債問題圓滿解決、十八日○神兵隊事件廿五日迄公判停止○宮中御恒例の講書始の儀佐々木信綱、藤塚鄰、長岡半太郎三博士參進殿かに行はれる○廣田外相川越大使に歸朝命令を發し日支國交に事實上斷絶○内務省は來る二月十一日の紀元節に全國十二萬の神社に出征將兵の武運長久、國威宣揚の祝詞を奏する爲め近く改正省令を發布すると○佛内閣、再出馬のシヨータン氏急進社會黨を糾合漸く成立○米國聯邦檢察官ハンジャミン・ハリソン氏太平洋岸から日本人漁船を驅逐する爲めロサンゼルスで外人所有漁船取締方針開明、十九日○重井代議士治安維持法違反で起訴○商法改正外商法中改正法律施行に關する法律案、特許法中改正法律案、商標法中改正法律案、不正競

争防止法中改正法律案、辯理士法中改正法律案の五法案政府より貴族院に提出○北白川宮多惠子女王殿下外御學友三百十四名東京刑事地方裁判所に御成り鬼頭所長の講演を御聴取、裁きの庭を御見學○企畫院は國力充實四ヶ年計畫案の主要項目重工業生産力の擴充、輕工業の振興による輸出の増進、日滿支源の綜合的開發計畫、勞働力の組織化國民生活の高度の合理化、生産力擴充の見地よりする學術、文化の再檢討を決定生産力の大擴充を期す二十日吉田元文相秘書官に禁錮八ヶ月(未決四十日通算)三年間執行猶豫の判決○代議士山崎常吉氏の選舉法違反事件は、名古屋地方裁判所で罰金五百圓(求刑は懲役六月)當選無効但し公民權は停止せずとの判決、二十日○現行税法の部分的改正に關する臨時租稅増徴法、所得税法、相続税法、登録税法、酒造税法酒精及酒精含有飲料税法、麥酒税法中改正法律案等政府案七件衆議院提出○山東拋棄の廉で前山東省主席韓復榘軍法會議の結果漢口で死刑決定、二十一日○大阪の百六十萬圓背任横領の銀行重役等に一番判決○元大藏省銀行検査官補志戸本氏帝人相被告と示談成立○神奈川縣金田港の要塞地帯に侵入した英國貨物船マリオン・モラー1號事件に付き取調中の横濱地方渡邊檢察事は上京吉益檢察長、中野次席檢察事の指揮を仰ぐ、二十二日○第七十三議會再開○津輕要塞地帯を侵した嫌疑で函館に抑留中の英國貨物船ハン

ナ號ウインフレッド號(ハ號は廿一日ウ號は本日)何れも釋放、二十四日○浦和の殺人女形淺草雷門旅館賣來屋にて逮捕、二十五日○大本教宇智磨以下卅名の豫審終結○神兵隊事件更に一週間公判停止○電力國家管理案衆議院に上程、委員付託○警視廳鑑識課長高木保三氏同課乙葉辰三氏の協力研究に成る指紋採取の新藥品を發見、二十六日○三井鑛山監査役を斬た藤原正當防衛を主張して上告○衆議院豫算總會初日軍事扶助費増額千五百二十萬圓の本年度追加豫算案を即決可決○日枝丸爆破未遂事件の背後に共產黨の魔手が躍つて居る旨判明○蔣介石は事變以來抗日戰失敗の將領李復庸、韓復榘以下八高級將校を死刑に處せる外多數責任者を免職せること判明、二十七日姫路城ロケーション中爆破事件判決○樞密顧問官四名關員中貴族院議員元外相松井慶四郎男、同元東拓總裁菅原通敬、同前九大總長松浦鎮次郎の三氏補充内定○軍機保護法並に船舶法違反で横濱區裁判所で略式で罰金千五百圓を言渡された越境英貨物船マリオン・モラー1號長ウイリアム・ホーラー氏正式裁判を申立たが之を取下げ右罰金を支持し横濱を出帆○支那事變に懸々の武勳を樹て、凱旋した新中部防衛司令官陸軍中將谷壽夫、陸軍少將重藤千秋兩將軍參内軍狀を奏上○中華民國臨時政府、去る十六日發表の我が聲明に呼應東亞百年の平和確立の爲め友邦日本と提携更生國家の結成に邁進する重大聲明

就任スペイン國民政府を組織○寺田代議士選舉違反事件に二審で罰金刑但公民權不停止

二月

一日○大内、有澤、美濃部等大學教授助教教授外卅五名人民戰線派全國一齊に檢舉○神兵隊事件第十五回公判宇野裁判長係りて開廷、三橋檢事改めて公訴事實を開陳○五・一五事件海軍側關係者元海軍中尉山岸宏同中村義雄、同少尉村山格之三名假出獄○鹽野法相、衆議院本會議劈頭去月二十四日の濱野徹太郎、安藤正純兩氏の帝人事件に關する質問に對する答辯を爲し所謂「大乘的見地」の意義を釋明○上海抗日テロ團の七名死刑○荒井賢太郎氏逝去に伴ふ樞密院副議長の後任に顧問官原嘉道氏就任と内定○冀東防共自治政府は中華民國臨時政府に合流新政權の下に立つ○来る十一日の紀元節をトし恩赦奏請の議政府部内に起り鹽野法相各閣僚と懇談○舊文戰同人評論家青野季吉世田谷署に自首、二日植村事件第三回公判○沖繩縣教育疑獄一審判決、三日○板橋の夫妻殺し被害者の義弟宮本晃が迷信の爲め慘殺した旨を命ず○司法大臣賞論文「華國の精神と法律」を募集○次官會議吏道向上、日本精神の昂揚、吏道の向上に關し官吏の教養についての施設を考究實施す

ること、二、官吏服務規律の改正を行ふことの二項目を採擇○文部省は東大内兵衛等檢舉教授等を起訴を俟たずして休職處分に付するの意を固む○社會大衆黨、人民戰線派邊區議外十四名を除名す○樞府副議長に原嘉道氏、同顧問官に松井慶四郎、菅原通敬、松浦鎮次郎の三氏任ぜらる○神速沖部隊芝罘占領○日蘭通商協定成立二ヶ年來の懸案解決○海軍陸戰隊東山及西山の兩砲臺占領、四日○河野代議士選舉違反事件二審で無罪○林長二郎傷害事件判決各被告人懲役刑○廣東に余漢謀麾下の叛亂起り同省首席吳鐵城全市に戒嚴令を布く○プロシヤベルカ獨逸國防相を廻るナチスと國防軍との對立尖鋭化しヒ總統、政權獲得以來の難關に逢着、五日○神兵隊事件第十七回公判○人民戰線第二次檢舉に依る杉森北大助手仙臺に護送○臨時閣議近く行はる、恩赦の範圍を減刑及復権の二種に限定するに内定○沖快速隊部山東牛島北端の要地蓬萊を占領、六日○帝都の大學、高等、專門學校六十一校の若人三萬二千名竹田宮恒徳王殿下の台臨を仰ぎ、代々木練兵場に建國奉祝式を舉行、七日○帝人事件の大野龍太、相田岩夫志戸本次郎の三氏刑事補償金を請求○神奈川縣事疑獄事件元横濱市助役大岡大三氏等百十九名に無罪判決、八日○第十八回神兵隊事件公判○血盟團事件に連坐した元國學院大學生須田太郎氏、恩典に浴し假出獄○三土忠造氏帝人事件無罪判決に基き刑事補償

要求○細菌魔川口市耳鼻咽喉科醫師高橋貞三郎(三三)の殺人並殺人未遂事件は浦和地方四月六日、十一日、十三日の三日間に亘つて事實審理を行ふことに決定○近衛首相參内恩赦奏請を内奏○尾崎行雄氏衆議院各部より憲法發布五十周年記念祝典賀表起草委員長に推薦さる、九日○門田前代議士選舉違反事件に罰金判決但し公民權不停止○政府は来る十一日恩赦と並んで官吏及待遇官吏の懲罰、懲戒免除を行ふ爲め之に關する勅令公布の準備を進む○貴族院商法改正小委員會への併託議案有價會社法案に付き山岡委員長大森政府委員の説明を聴き特別委員會に廻付○庶民金庫法及無盡業法中改正兩法案(政府案)衆議院に提出○内務省では来る十四日の控訴期間満了を待つて神奈川縣市疑獄事件判決が生んだ無罪百十九名中本省關係官九名神奈川縣關係官六名を各適當の官職に復活せしむるに決定○陸海軍當局は中支方面に於ける占領地一帯の敵財産は新政權の確立に至る迄我軍に於て軍事管理を爲す旨當局談を發表○血盟團事件の田中氏假出獄○白晝朝鮮商業銀行黃金町支店京城地方法院檢事池田慶弘なる名刺を用ひ現金と帳簿調査を名に干圓を窃取逃走せる偽檢事元朝鮮海州金融組合書記神谷五郎捕はる、十日○一・一五事件の市電現業員三十五名退職處分○加藤綱一代議士當選無効の判決○川村代議士選舉違反事件に付罰金判決(二五〇圓)○

飛鳥文吉氏選舉違反事件に付執行猶豫の判決○五一五事件の堀川元訓導恩赦減刑の上假出獄○憲法發布五十年記念に議事堂中央廣間に建立された伊藤博文公、大隈重信侯、板垣退助伯三憲政功勞者の銅像除幕式盛大に舉行○貴衆兩院憲法發布五十年祝賀上奏文を可決○商法改正案等附同施行法案、有價會社法案、日滿司法事務共助法案上院可決○有田八郎氏貴族院勅選議員となる○新設マツチ税等四十七項目稅收六千二百萬圓見込の物品特別稅の細目大藏省の原案決定○滿洲國政府は臨時國務院會議を開催國家總動員法案を可決、十一日○紀元節○憲法發布五十年祝賀式典長くも秩父御名代宮殿下の台臨を仰ぎ政府並に貴衆兩院主催の下に貴族院にて盛大に舉行優渥なる勅語を賜り諸員恐懼感激○聖恩無邊長くも恩赦の大詔渙發、減刑令復権令他關係諸勅令發布全國で減刑在監者約二百名非在監者約七百名勅令に依る復権條件を具備せる者約三十萬人○聖戰下に迎ふる紀元の佳節憲法發布五十年祝賀式典の舉行の建國祭は帝都を始め全國津々浦々に盛大に舉行六百萬市民日の丸の波宮城前廣場に氾濫○三土氏に前官禮遇正三位勳一等を賜ふ○畏き邊りでは憲政功勞者樞密顧問官金子堅太郎伯外二七氏に叙位、賜杯○滿洲國治安攪亂赤化陰謀事件の八十五名に死刑判決○鹽野法相邸に全國控訴院長、檢事長、裁判所長、檢事正を招集減刑令復権令の執行に關する訓示を與へ諸

戸本次郎の三氏藤井裁判長に無罪判決の主文及理由要旨の官報掲載方を申立つ。○杭州海上陸作戦の精銳岡田部隊の勇士歡呼の嵐を浴びて目出度く凱旋、五日○日大生殺し第一回控訴公判○中西東京市會議員上告棄却で失格、六日○横濱市會選舉に社大黨六名進出○我が岩田、久野村、千田各部隊奮戦陝西省境河曲城を占領○金岡部隊山西同蒲戰線の最終驛蒲洲を占領、七日○菅野代議士失格堀切氏繰上當選○二十八億六千七百萬圓に上る昭和十三年度總豫算案貴族院を通過成立、八日○日大生殺し事件第二回控訴公判○岐阜藥專元教授贈賄事件に懲役六月(三年間執行猶豫)の判決○往年の板舟權補償問題が又も開會中の東京市會で審議されんとして居るとして少壯派議員間に問題化す○電力管理法案に松本蒸治博士得意の法理論を以て眞向から反對貴族院本會議に波瀾惹起○本門寺法華宗の教範に國體を汚濁する字句ありとし、大阪の中川晴之氏は大僧正福原日事師外六氏を不敬、出版法違反並に治安警察法違反で告發、九日○久原、津雲兩氏の二・二六犯人隠避事件公判あく○衆議院國家總動員法案委員會で青木企畫院次長第二十條は今事變に適用すると新なる方針を説明委員會に波紋を投ず○中華民國臨時政府舊通貨整理辦法及經濟攪亂行為に關する取締辦法を公布即日實施○ソ聯船長を軍機保護法第十四條及び船舶法第三條違反で起訴、十日○大阪の瀆職元技師に一年

の懲役判決○事變下に迎ふる三十三回陸軍記念日に一億同胞英靈の偉勳に默禱を捧ぐ○皇紀二千六百年記念日本萬國博覽會入場券二千圓アレミアム付で全國一齊に發賣○石丸部隊黄河を渡河小垣村を占領○北京中國聯合準備銀行愈々開業○シヨータン佛内閣總辭職○シユシニツク埃國首相來る十三日祖國の獨立を維持するや否やに付き國民投票を行ふ旨宣明○岩田部隊陝西省内黄河西岸の敵陣地麻地溝を占領、十一日○寶石密輸王タタラの十六萬圓罰金原審刑確定○久原、津雲兩氏の二・二六事件犯人隠避罪第二回公判○近衛首相過日の岩田宙造博士の國體と憲法の關係に關する質問に對し政治は憲法に依り國體の本義を愈らざる様行ふ旨政府の所信を闡明○ナチス黨員の投票反對示威運動で各地に警官隊と小競合を演じ全埃騒然○シユシニツク埃國內閣國民投票決行發表に依る國內不安を收拾する能はず總辭職○ソ聯反革命陰謀事件モスコに於ける續行公判プハリソン、ルイコフ等十九名に死刑を求刑○獨軍越境埃國に進入國民投票は無期延期、同日後繼首相にトスカト氏就任新内閣成立、十二日○長野高一代議士に當選無効の判決○大阪府五區選出民政黨代議士田中萬逸氏に係る昭和十一年總選舉の違反事件に對し大阪控訴院立會檢事は禁錮六月(一審同四月)を求刑○後樂國スタヂアムの背任横領事件の嫌疑に依り同スタヂアム代表社員田邊宗英、同總務部長坂

本勅七兩氏警視廳に召喚留置○河野前會計檢査院長逝去行年六十五○江南の野で華々しき戦死を遂げた飯塚、谷川八兩、大島、福井等各部隊の英靈六百七十九基芝浦東京港に無言凱旋、十三日○國家總動員法案第二十條(新聞紙等取締規定)は今事變に適用せずとの内務省側の解釋決定○事變下國鐵の黒字は昨年度に六億圓を突破未曾有の記録を樹立○上海中央銀行突如外國爲替統制實施を停止上海市場はノーマーケットに陥る○獨埃合邦はミクラス埃大統領辭職インカート新首相事務代理の下に行はる○インカート首相獨埃合邦を規定する新聯邦憲法を公布○ドイツ政府・オーストリアはドイツ國の一部なりと布告を發布同時に來る四月十日國民投票を行ふ旨發表○リンツに於けるヒトラー獨總統埃國軍をドイツ國防軍に編入する總統令を發布○佛ブルム第二次人民戰線内閣成る○カイロ國際オリムピック委員會總會コムミュニケを發表冬季大會優先權削除を決議、十四日○草履等商品賣込を斷はれ生活難に陥つた連根みの放火男大谷英資(四)は服毒自殺未遂○人民戰線派加藤勸十、黒田壽夫兩代議士取調擔任の栗谷、長谷川兩檢事に轉向の心境を供述○司法省所管の昭和十三年度追加豫算費額下の如く大藏省議で決定(單位千圓)一、思想犯罪防遏施設費(事變に伴ふ思想犯罪防遏の爲め刑事局書記官一名、保護課事務員一名、事務員一名増員其他)四四四、一、利務所軍需作業

施行經費(設備改善費及び資本金)六、九三九、一、司法制度調査委員會設置費一五、一、恩赦執行に關する經費一七六、合計七、五七四○司法制度調査委員會の設置決す、十五日○ヒトラー總統ヘルデン・ブラツツ廣場で獨埃合邦を世界に宣言、十六日○久原、津雲兩代議士の二・二六犯人隠避事件公判○宇智磨等大本教審理の裁判長庄司地方判事ときまる○國家總動員法案滿場一致無修正衆議院可決貴族院に廻付○西尾末廣氏(社大)衆議院本會議の國家總動員法案討論に際し「スターリン」失言問題で懲罰委員に付き、十七日○陸海軍兩部隊揚子江北岸に上陸南通縣城を占領○廣田元首相暗殺豫備事件判決、十八日○植村元中將夫人に執行猶豫の判決○谷川部隊崇明島に上陸縣城崇明占領○京都造幣廠二審判決、十九日○瀬戸内海に於ける綠丸衝突事件兩船長に罰金判決○軍機保護法違反のソ聯船長に罰金判決○日伊親善の歴史を飾る訪日フアシスト使節團熱烈なる歡迎の裡に東京歸着晴れの入京、二十一日○ドイツ政府砲艦パネー號の賠償金六百餘萬圓を帝國に請求、二十二日○天皇陛下にはイタリイフアシスト訪日使節團一行十八名に謁見○大審院檢事局主權の全國思想係檢事會同人民戰線派被疑者の取調方策を協議○商法中改正法律案、商法中改正法律施行法案、有限會社法案衆議院本會議で可決確定○貴族院電力委

員は再修正を爲すに意見一致〇来る二十六日頃南京に「中華民國維新政府」の誕生を見る筈〇昭和六年から八年間死體から約七萬圓の金齒抜取の堀之内火葬場の残灰處分權利者太田安三一昧檢舉東京地方岡原東地検事が死體損壊で取調、二十三日〇二・二六犯人隠避事件公判に坂本前憲兵隊長證人に立つ〇鹿兒島檢舉正宮崎國吉、甲府檢舉正石川近之進兩氏去る十九日勇退〇埼玉縣の百萬圓事件控訴公判あく〇「生きてゐる兵隊」の筆者等警視廳に召喚〇三宅代議士、衆議院の電力委員會に於て政友會の土倉宗明氏外一名の爲に暴力を以て公務執行妨害を受けたとの理由で土倉氏等を告訴〇衆議院本會議秘書會の結果小山議長は舌禍事件の西尾末廣氏(社大)に除名を宣告〇日枝丸爆破未遂事件のシヨージ・パトリックはシアトル州上級裁判所陪審裁判で無罪、二十四日開かぬバラシュート事件第二回公判〇西尾末廣氏の除名騒ぎ中暴行を受けた社大黨代議士井上良次氏政民院外團員數名を相手取り警視廳に告訴〇國家總動員法貴族院本會議で成立、二十五日〇本年度陸軍特別大演習は支那事變の關係上御取止と決定〇来る四月一日より山口縣徳山港を要港と指定する海軍軍令公布〇西尾末廣氏の除名に伴ひ大阪府第四區では選舉會を開き、次點者森田政義氏(政友)の繰上當選を決定〇富田幸次郎氏の逝去に伴ひ高知縣第一區代議士補缺選舉會次點者淺井茂猪氏(政友新)の繰

上當選決定〇人民戦線派山川均等十九名首腦部近く送局〇二・二六犯人隠避事件證人調〇三月二十六日迄一週間帝國議會會期延長の詔書下る〇會期最終日に電力管理法案貴族院で再修正の上衆議院に逆戻り政民兩黨は兩院協議會の開會を政府に要求〇邦人漁船のアラスカ鮭漁不許可方針を内容とする日米漁業協定成立、二十六日〇電氣局長刺殺の元鐵道技師田口橋次郎(四〇)に懲役六年の判決確定〇電力管理法案可決成立〇上海に於ける法幣大暴落〇ゲーリング獨空相ウイーンに於て獨逸合邦の演説を行ひ、前嶼首相シュシュニツク氏を詐欺的國民投票を行はんとした廉で公判に付する旨言明、二十七日司法省は改正商法の實施準備を整へる爲め来る四月十八日より四日間各控訴院地方裁判所の民事部長並に判事六十二名を招致協議會開催と決定〇第七十三通常議會閉院式貴族院にて舉行〇伊國使節團を後樂園に迎へた國民大會防共凱歌に天地搖ぐ、二十八日〇神山東京市議違反判決破毀差戻となる〇選信疑獄の清水氏釋放〇政民兩黨本部占據事件の首謀者中溝多摩吉(五〇)警視廳に自首〇陸軍防空學校令(軍令)公布〇中華民國維新政府成立〇中華民國維新政府成立式の舉行に依り上海法幣俄然暴落〇日本最初の「辯護士職務規準」大阪辯護士會臨時總會で可決、二十九日〇美濃部博士狙撃事件第一回控訴公判〇尾去澤タム鐵山事件の責任者三名豫審で免訴、三十日〇鹽野法相司法

制度刷新の第一歩として四月一日より東京地方検事局内に指導部を新設、新歸朝の市原分檢事部長となる〇檢事控訴となつた東京集鴨の若妻殺し事件の公判準備の爲四月八日現場の實地檢證を爲すに決定〇政府は昭和十三年度公債發行豫定額五十六億二千八百餘萬圓を發表〇大本營陸軍部三月十一日以降同二十五日迄黄河以北に於ける戦果を發表敵の遺死體一萬五千、同負傷五六萬、我が戦死約四百〇東京地方廣重檢事外四檢事係りで政黨本部占據事件の本格的取調〇刑法學界の白眉牧野英一博士佛法の碩學杉山直治郎博士と共に東大を定年退職。

四月

一日〇久原氏公判は十一日の豫定を繰上ぐ〇九州帝大法文學部助教授高橋正雄氏人民戦線派教授團と密接なる關係ありとて歸朝即日三田署に留置〇支那事變戦死者の英靈陸海軍四千五百卅三柱は来る靖國神社臨時大祭に合祀せらる〇滿洲、上海事變第二次論功行賞中滿洲に於ける討匪戦に戦死せる陸軍關係百五十一名の行賞發表〇大學卒業者軍需會社に奪はれ各官省の官吏志望者例年より半減〇徐州會戦の前衛戦莊崗陵嶺を占領〇駐日獨逸大使オイケン、オット少將と決定〇六全大會、三民主義の最高原則を採擇抗日戦強化を決議〇内務省警保局は時局に鑑みメーデーの永久禁止を決定〇傷兵保護院の新設の官制案

成る、四日〇滋賀縣蒲生銀行キヤングに懲役八年の判決、五日〇城ヶ島放火事件求刑懲役十二年〇内田元鐵相等の國鐵疑獄公判開廷、六日〇川口市の細菌廠高橋の初公判あく〇北京臨時政府は王克敏の射擊事件に鑑み治安維持に關する非常暫行條例を公布、〇ソ聯神戸總領事館を閉鎖引揚の準備を急ぐ〇米國政府は獨逸合邦を承認、七日〇政黨本部占據事件の一味八名強制收容〇大阪刑務所會計係上田治太郎(三三)保管金三千圓を横領起訴豫審に付さる〇政黨占據事件に付き代議士津雲國利氏東京地方検事局に召喚を受く〇沖繩選出の盛島代議士選舉違反事件有罪確定〇我が海軍廿機宜昌、信陽を空襲歸途漢口で敵機三機を撃墜〇國民政府行政長孔祥熙をして第三國財界人に和平希望を懇願せしむ〇排日家上海滬江大學校長劉湛思氏暗殺さる、八日〇久原氏の犯人隠避事件憲兵隊特高長を訊問〇沖繩縣選出盛島明長代議士(政友)の失格により小田氏繰上當選〇山東の司法機關復活〇第二次ブルム内閣總辭職〇米國下院本會議上院から廻付された行政機構改革法案を否決し大統領の面目潰る〇佛ルブラン大統領後繼内閣組織をダラチエ氏に委嘱、九日〇東京區の三宅判事等映畫に依り野中式落下傘事件を檢證〇内親謀殺の日大生殺し事件控訴第四回公判父親寛徹頭徹尾謀殺を否認〇全國道府縣經濟部長會議席上末次内相貯蓄獎勵を強調、十日出征兵士の特別復権奏請し司法省の方

針きまる○中國臨時政府東京辦事處(領事館に相當)開設事務を開始○ソ聯極東軍總司令ブリュツヘル將軍「今こそ對日開戦の好機なり」と開戦論を主張○獨逸合邦國民投票ドイツ全土に亘つて一齊施行○佛領北アフリカ、チュニスのアラビヤ人數百名反佛テモを敢行死傷者多數、○人民戦線派教授大内、脇村、有澤、美濃部等八名を四月末送局の見込○急進黨と中央諸黨を集めた佛ダラエ内閣成立、十一日○川口市の細菌廠第二回公判殺意否認○昨年十月赤坂區田町の番頭殺し一審判決懲役八年○鹽川代議士に當選無効の判決、十二日○國鐵疑獄公判談合金を別決○落下傘事件第三回公判にて五十メートル以下の落下傘降下は危険であると証言○宮澤代議士に公權停止の判決○第五十六回東京帝國大學創立記念式に三千餘名の學生を前に長興總長大學の使命と國體の本義を宣明○ソ聯政府は國民の滿洲國內への逃亡者續出するに鑑み逃亡防止法を公布違反に死刑を以て處む○聲樂界の第一人者シャリヤアヒン氏六十六歳を一期にパリの自宅にて死亡、○刑事參考館から偽造紙幣を竊取行使した司法省守衛捕はる○元東京築地活版事務横領罪で起訴○ウオレス商務次官英下院に於て極東向の武器輸出高を發表(七月一日以降本年月末まで對支十八萬三千ポンド對日六萬一千ポンド)、十三日○政黨本部占據事件不起訴に傾く○傷兵保護院官制を樞密院可決○帝國政府は獨逸

獨逸合邦に伴ひ近くハンガリー國ブタペスト公使館を開設するに決定○元ソ聯最高幹部コルク將軍夫人、ブゲヨノイ元師夫人等十一名裁判を經ず最近モスコイで銃殺に付されし旨傳へらる、十四日○大阪北濱街襲撃の兇惡ヒストル強盜に死刑判決○内田元鐵相以下十八名に係る國鐵事件第三回公判○政黨本部占據事件の防共護國首腦部中溝多摩吉外六名不起訴と内定釋放○傷兵保護院總裁に前侍從武官長本庄繁大將就任に決定○科學審議會官制案脱稿同時に委員決定○エ國併合を承認し英伊國交を快復するローマに於ける英伊會談最終打合せを終り来る十六日協定調印の運び付く○開深炭鐵の争議待遇改善認められ圓滿解決、十五日○二・二六事件犯人隠避事件の久原津雲兩氏に罰金求刑○城ヶ島放火犯人に懲役十年の判決○選信疑獄進展贈賄事件關係者續々檢舉、十六日○堀之内火葬場の金齒抜取りの一味起訴○開深炭坑争議再燃我官憲暴動化を嚴戒○名古屋陸軍兵器支廠輸送係長砲兵少尉某外二名收賄罪として第三師軍法會議に付さる、十七日○天皇陛下の親臨を仰ぎ自治制發布五十周年記念式二重橋前に舉行一萬餘の參列員に優渥なる勅語を賜ふ○司法省主權の少年保護記念デー○京大疑獄事件で豫審判事上京、十八日○浦和の殺人女形の豫審終結有罪と決定○茨城縣第一區選出政友會代議士葉梨新五郎氏の選舉法違反事件公判土浦支部に開廷懲役一年を求刑○

本庄大將の傷兵保護院總裁親任式行はる○厚生省傷兵保護院内務省廳舎に開店○郷誠之助男北支開發中支振興兩會社設立委員長就任○友邦イタリ海の親善使アルベルト・ダ・ザイラ艦長以下乗組の巡洋艦モンテクツコリー號横濱に入港○第十七回滿洲國々務院會議領事裁判權撤廢に伴ふ滿日司法事務共助法案を審議可決、十九日○國鐵疑獄第四回公判に於て前田は内田鐵相に贈つた問題の五萬圓は純然たる政治資金で請託の意思なき旨辯解豫審の供述を否認○保險金詐取謀殺事件の無期懲役の原審刑確定○府中刑務所燒く囚人無事損害約十五萬圓○帝都に略奪取締規則を來る五月十七日公布する○名譽の戦死を遂げた英靈の祭料、賜金、遺族扶助料を繞る遺族間の紛争を我國家制度の美風を考慮して圓滿に解決せしむる爲め戦病死者遺家族保護委員會設置○南部山西省の沂州城占領○開深炭鐵の争議刻々惡化○安部社大黨首襲撃事件の森清一、八重野勝雄等共犯六名傷害、公務執行妨害で近く送局、二十日○久原元選相、津雲代議士兩氏に係る犯人隠避事件第七回公判に於て石郷岡辯護人久原氏が亀川を宿泊せしめたるは道義心の發露なりと無罪を主張○東京憲兵隊は漢口活躍、日本中傷記事のドイッ婦人記者を監視來る五月一日より滿洲綏化慶城間の新線開通、二十一日○准士官下士官に初叙功六級を兵に功七級を賜はる改正金鵞勳章叙賜條例公布即日施行○病癒えた近

衛首相二旬ぶりに首相官邸に登臨、對支國策の一元化を強調○紀元二千六百年記念日本萬國博覽會總裁に長くも秩父宮殿下を奉戴○靖國神社宮司賀茂百樹氏退職後任に鈴木大將就任、二十一日○元朝鮮銀行總裁美濃部俊吉等の商法違反背任及有價證券虛偽記入行使事件豫審終結有罪○江古田の保險金詐取殺人夫妻の書類送局、二十二日○久原元選相等に係る二・二六犯人隠避事件第八回公判久原、津雲兩氏の最終陳述ありて結審、判決言渡は來る五月六日○安部社大黨首襲撃事件の主謀者千々波敬太郎以下六名傷害及公務執行妨害で東京地方検事局に送致○憲兵隊長合同で泉二檢事總長訓示○斷種法審議會開く○パネー號事件の我が賠償金全額六百七十萬圓を米國大使館に手交同事件も圓滿解決、二十三日○名譽の傷兵等に從來より六倍の手當を給與する改正陸軍軍人軍屬歸郷療養給與規則勅令第二百八十一號を以て公布即日施行○中央物價委員會第一回總會二十五日と決定○支那事變初の論功行賞賞勳局より發表陸海軍合計四、三三九名に上る○長二郎額斬り教唆に懲役判決○オリムピツク東京大會主競場駒澤に決定、○國鐵疑獄第六回公判飛鳥文吉氏の審理○高等試験外交科試験答案作成外國語試験以外は日本語を以て作成せしむるに決定○紀元二千六百年奉祝記念事業評議員會第四回總會首相官邸に開催、樞原神宮境域並に畝傍御陵參道の擴張整備計畫を特別委

員會の原案通り可決、二十四日○靖國神社招魂式○司法省では来る二十九日天皇の佳節に際し特殊犯人を除き刑期三分の一を終へ成績優良なる服役者を假出獄の恩典に浴さしむべく着々調査を進む○斷種法の實施準備運動に東京地方裁判所囑託精神鑑定醫菊地甚一氏以下醫師間に反對の叫び揚がる○日滿司法事務共助法は五月一日より日滿兩國同時實施の運び○沂州南方十五里の敵要地郟城を占領、二十五日○刑事實務家會同法相官邸に開かれ第七十三議會通過の新法律施行の打合を行ふ○電力案事件摘發に乘出した警視廳紫雲莊の盟主橋本徹馬氏を参考人として召喚取調、二十六日○畏くも天皇陛下には靖國神社へ行幸○世田谷署現職巡査六千餘圓窃盜で逮捕、二十七日○駒井派選舉違反事件に原審通罰金控訴判決○元銀行重役執達吏を慘殺○樞密院本會議「支那事變の爲召集せられたる高等試験受験資格の特例に關する件」を審議原案通り可決○飯塚、津田等諸部隊江蘇省を占領、二十八日○國鐵疑獄第七回公判飛鳥文吉氏の訊問を續行○三日間に亘り思想犯罪對策等を審議した刑事實務家會同全日程を終了○日活重役間の東京區裁判所安部判事は紛争解決の最善案を間、十藏寺織田、三辯護士に手交協力を求む○問題の大津市の老婆絞死事件に原審通り懲役十年の求刑、二十九日○若葉薫る天長の佳節畏くも大元帥陛下には代々木原頭の觀兵式に行幸無敵皇軍を御閱兵

遊さる○全國各刑務所に服役中の優良者三百十九名假出獄の恩典に浴した○北支中支新政權不承認方の蔣介石よりの懇請を伊國默殺、三十日○朝鮮天道教の一味五名治安維持法違反で檢舉解禁○第八回國鐵疑獄事件公判○開かぬバラシエト事件第四回公判○多摩川所長根岸寬一氏の解雇取消に依り日活紛争圓滿解決○海軍中將及川古志郎氏支那方面艦隊司令長官となる○曩に滿洲國國務院會決議で可決した日滿司法事務共助法公布○安徽省西部巢縣を占領。

五月

一日○「略取規則」を帝都に公布施行○兩國國防強化策の意見一致英佛會談は終幕○ズデーテン黨員警官隊と衝突テュッコ國境風雲急○ガッリン切符購買制度全國一齊に實施、二日○皇后陛下靖國神社に行啓○司法長官會議第一日○第二インスターションナルはコミンテルンと手を切り世界人民戰線分裂、三日○國鐵疑獄第九回公判○司法長官會同第一日鹽野法相の挨拶の後池田大審院長の發議に依り皇軍將兵に對する感謝決議を滿場一致可決協議事項の審議に入る○地方長官會議第二日○江蘇省佐藤部隊安堵を占領○司法長官會同第二日○後樂園疑獄の七名示談成立釋放○安部篤首襲撃の一味六名傷害罪で起訴○フランク政府は駐日公使にサンチアゴ・メンデス・デ・グアイゴ氏を任命、五日○畏くも天皇陛下には

上京中の控訴院長檢察長をお召し、池田大審院長より裁判事務の概況、泉二檢事總長より事變後の犯罪減少の法況を又各院長檢察長より所管事務の概況を御聽取遊さる○司法長官會同第三日○第十四回國鐵疑獄公判○友邦伊國經濟使節團エツトロー・コンチ氏以下一行來朝○山東江蘇省境の王塘集を占領、六日○畏し皇后陛下には日本赤十字社第四十六回通常總會及愛國婦人會、第三十六回通常總會に行啓令旨を賜ふ○全國辯護士會長合同協議會○二・二六犯人隱避事件の久原、津雲兩氏に無罪判決檢事側控訴權拋棄○森田代議士に罰金二千圓公民權不停止の二審判決○新宿第一病院の藥劑師病院に出入の紙間屋與津初治方の雇人青島三郎を大磯におびき出し麻酔藥を與へて八百圓を強奪して自殺、七日○コンチ氏以下伊太利經濟使節團一行帝都に入る○世田ヶ谷現職の窃盜警官に懲役二年の判決○賭博犯未決囚東京拘留所から脱走○横濱港に繋留中の兵器密輸船北樺太石油所有船おは丸檢舉○司法部長官及辯護士會長合同協議會、法曹會館にて開催○厚生省は全國十八ヶ所(二十五ヶ所中)に傷痍軍人療養所を來る九日設置するに決定、八日○輔成會創立廿五周年祝賀會、九日○司法制度調査會本月中に設置○十日の神兵隊事件公判六月十四日迄また延期○滋賀縣の所謂賭審やり直し老婆絞死事件に懲役七年の判決○國際聯盟理事會非公開會議を開き今會期中の議題を決定、

支他國の反對を抑切りエ國代表の出席を承認、十日○日大生殺し控訴審に一審通りの求刑死刑徳田寛(五六)無期懲役徳田はま(四〇)懲役六年徳田榮子(三四)○第十二回國鐵疑獄公判○長崎縣第二區の缺員に基き則元氏線上當選○我が海軍廈門に敵前上陸全島を占領○去る五月一日浦潮でソ聯スミルル海相が日本誹謗の演説を爲したるに對し重光大使嚴重抗議を提出、十一日○刑務所長會同司法省會議室で開催○帝都に於けるガッリン節約の效果は交通事故の減少となつて顯はる○西尾壽造中將教育總監に親補○廣東軍百五十七師長黃濤は汕頭に戒嚴を布く、十二日○葉梨代議士に選舉違反罪に因る禁錮六月の判決、○京城に於ける百萬圓の證券詐欺團檢舉解禁○内田元鐵相等の國鐵疑獄第十三回公判内田氏への五萬圓の橋渡しをした收賄幫助に問はれた元代議士難波清人氏審議○堀内外務次官外務省にスラウツキソ聯駐日大使をソ聯招致の對日惡宣傳の中止方を要求○陸戰隊廈門市占領○滿獨條約成立、十三日○大本教々主出口王仁三郎の豫審四年振りて終結有罪と決定、不敬罪、治安維持法違反として公判に付さる○今宮署留置場のリンチ事件二名中最高懲役六年判決○久原、津雲兩氏の無罪判決確定○檢事局金齋取事件追及の徹底を期す、○購買係長等收容選信省經理局の物品納入に絡む讀聯事件購買係長等收容、十四日○雜誌新公報六月號及東洋經濟新報五

月號發賣禁止○國際聯盟理事會日支紛爭決議案を採
擇閉會○橫濱港内外を撮影して廻つた要塞地帯法違
反の外人書類送局、十五日○警視廳刑事部では電力
案事件の取調の徹底を期し四主任を任命○帝大研究
機空六十二時二十三分一萬千六百キロを翔破世界
新記録を樹立○我が北進部隊は宿縣西北方十里の滌
溪口を占領○ソ聯外務人民委員部極東部長に外蒙赤
化に辣腕を揮つたセルゲイ・ナウモヴィツチ・ミロ
ノフ氏任命、十六日○大本教事件の公判は十七日よ
り十九日迄三日間續行の豫定○名古屋税關疑獄の森
田爲替課長等四名收容○輔成會創立二十五周年記念
司法保護全國大會○首相官邸の國家總動員初會議支
那事變終局目的達成を期す、十七日○國鐵疑獄第十
五回公判○埼玉縣の百萬圓事件第二回控訴公判○開
かぬパラシュート事件の空中檢證肥後少年が世界記
録實驗の犠牲となつた當時の條件で高度六十メートル
ルよりする實驗にパラシュートは見事開傘○城ヶ島
放火事件の免訴者に刑事補償決定廿五名の刑事補償
金は一萬九千六百八圓○杉並の殺人強盜に無期懲役
の判決○定例閣議文官制度改革案中の高等試驗制度
の改正點を審議し各關係は行政外交兩科の併合と豫
備試驗廢止を提唱、十八日○若妻殺し第三回控訴公
判大塚交番勤務横山嘉一巡查は中根に不利の陳述、
十九日○第十六回國鐵疑獄公判○法相官邸の全國保
護觀察所長會同は事變下に於ける思想家の保護觀察

對策を協議、二十一日まで續開の豫定○徐州陥落、
二十日○若妻殺し中根一郎の控訴第四回公判被害者
堀口登志子の肝臓の斷裂及肋骨の折斷に付き小南博
士に鑑定を命ず○官吏(文官)の身分保障制度撤廢の
意見閣議に於て提唱○皇軍感激の徐州城入城式、二
十一日○國鐵疑獄第十七回公判元鐵相内田信也氏の
審理を開始○岡山縣下に獵銃日本刀に依る二十八名
射殺事件起る、二十二日○司法省運動會○詐欺窃盜
で懲役二年に處せられ浦和刑務所に服役中の岩手縣
生れ三浦岩太郎(三)は同所を脱走東京方面に潜伏、
二十三日○中村梅吉氏選舉違反事件に無罪判決○主
人の養女殺し雇人に懲役十二年の判決○國鐵疑獄の
前驅警務疑獄控訴初公判、二十四日○第十八回國鐵
疑獄公判○風雲莊俱樂部頭千々波敬太郎等の安部
社會大衆黨首襲撃事件の公判○徐州戰に於ける敵の
死傷二十萬遺棄死體六萬戰利品は九萬發の小銃彈外
無數○滿洲國初の高等文官試驗を來る七月十五日か
ら十七日迄三日間東京、京都、京城外十一ヶ所で施
行○日大生殺し醫師徳田寛、妻はま、娘榮子に係る
殺人、殺人未遂、詐欺事件控訴續行公判、二十六日
○近衛内閣大改造外務大臣宇垣一成、大藏大臣兼商
工大臣池田成彬、文部大臣荒木貞夫、厚生大臣木戸
幸一○北樺太越境事件の杉本良吉、岡田嘉子はアレ
クサンドロフで勞役三年に處されシベリヤで服役中
二十七日○事變下に迎へた第三十三回海軍記念日に

一億の黙齋、二十八日○歐洲著作權者の代辯者ブラ
ーグ氏は法律事務取扱の取締に關する法律違反とし
て東京地方検事局に告發さる○川口派選舉違反事件
一審判決山本氏及二名無罪他は有罪○西部陸海線の
敵據點歸德を占領○四川の軍閥間に反蔣機運瀰漫、
二十九日○千葉縣の不審訊問の際生じたる鐵拳殺人
警官に懲役二年(三年間執行猶豫)の二審判決○川口
市の細菌醫に死刑求刑、三十日○横川代議士選舉
違反事件に付禁錮四月の判決、三十一日○日活紛争
和議開始で更生

六月

一日○選舉違反で高橋荏原區議失格○安部社大黨首
襲撃事件判決言渡日七日を四日に繰上ぐ○政友會の
總裁設置問題で中島、鳩山兩氏對立、二日○國鐵疑
獄第二十二回公判○鳩山代行委員他く迄政友會總裁
の公選主義を主張中島氏に挑戦○徐州陥落迄の我が
尊き犠牲二千餘名、三日○貫子二十二人の棄兒事件
公判證人調終る○陸軍中將板垣征四郎氏陸軍大臣と
なり杉山前陸相は軍事參議官となる○安部社會大衆
黨首襲撃事件判決最高懲役六月○「大地」の出版者長
谷川氏兵庫縣畫家福田周太郎より謝罪廣告要求訴へ
らる、四日○飛行集團司令部(軍令)を公布(六月七
日施行)、四日○國民政府外交部は駐日支那大使館を
正式閉鎖に決定○天理教典の創安者道徳科學の廣地

千九郎博士逝く行年七十二、六日○吉田博光氏の選
舉違反に禁錮八月三年間執行猶豫の控訴判決○日本
共産黨一二・五事件に連座の小岩井淨に懲役二年六
月の判決、九日○國鐵疑獄第二十三回公判○和歌山
地方裁判所の新宮鐵道疑獄事件判決言渡無罪三名他
は有罪○第十二回思想實務家會同、九日○電力案事
件と關係なきこと明白となり紫雲莊主釋放、十六日
○更生の日活に大谷松竹社長が擔保權實行の爲市内
直營映畫館の競賣を申請○京都選出民政黨福田代議
士に當選無効の判決、十一日○ひとのみち教祖等の
不敬豫終結御木徳一等公判廻付○美濃部博士襲撃
事件の小田十壯(三)に係る殺人未遂控訴第五回公判
○國鐵疑獄第二十四回公判○北洋出漁問題解決○駐
日支那代理大使館閉鎖○元駐日大使ユレネフ氏以下
の反革命陰謀被告事件は近く公判に付さるる事にモ
スコで決定○原玉重代議士派偽證事件の遠藤に懲
役六月三年間執行猶豫の判決○東大教授高柳賢三博
士は米國學士院名譽會員に推薦さる、十三日○御木
本徳一等の不敬事件豫終結公判同付○一二・五事
件最初の送局、十四日○神兵隊事件の公判再開○國
鐵疑獄第二十五回公判○元大阪府技師等の演職事件
の上告棄却○日暮里に薪炭商一家四人殺傷慘事○丸
の内東京無盡會社の天狗強盜送局○電力管理案事件
電氣協會の根岸鐵太郎氏以下六氏釋放、十五日○出
征者見送りの爲め横濱驛前の慘事運轉手に禁錮三月

(二年間執行猶豫)の判決○茨城縣第三區選出赤城前代議士選舉違反事件に付禁錮六月の判決、十六日○神兵隊事件第二十四回公判○鐵道疑獄の元鐵道省工務課長の原審刑確定懲役一年○第二十六回國鐵疑獄公判○川口市醫師細菌魔高橋貞三郎に係る第四回公判、十七日○河豚賣りに禁錮四月の判決○思想研究会近く司法省に設置、十八日○日大生殺し事件控訴判決無期懲徳田寛(五)懲役十五年未決通算七百五日徳田はま(四)懲役四年未決通算七百五日徳田榮子(三)○神兵隊事件第二十回公判○第二十七回國鐵疑獄公判、十九日○人民戦線派大内、有澤氏等の送局近し○警視廳近く營業許可權等を各署長の專權に委するに決定、二十日○上石碑(安慶西南約十里)占領○大阪市警渡船櫻島丸顛覆事件初公判本田船長は船客の定員超過と突風が顛覆の原因なる旨供述来る二十九日淺川判事一行は現場を檢證するに決定○金齒拔取事件進展し千葉縣中山法華寺の住職召喚、二十一日○神兵隊事件第二十六回公判○第二十八回國鐵疑獄公判○品川の嬰兒殺しに懲役二年の判決○議會制度審議會第一回總會首相官邸に開催○ソ聯冷凍船長軍機保護法違反で起訴、二十二日○高山刑務支所の強盗犯人岐卓生れ佐藤廣三(三)は看守を鐵棒で毆殺脱獄せんとしたるも看守長に取押へらる、二十三日○共產黨正統派に最初の判決○第二十九回國鐵疑獄公判○神兵隊事件第二十七回公判○邪教大本教事

件公判○南澳島占領、二十四日○宮城縣宮澤代議士當選無効確定失格○司法省議時局對應事項を決定○大谷拓相は北支開發會社總裁就任の爲め辭職後任に宇垣外相の兼任を内奏○蔣介石は武漢地方に徵兵制公布七月一日實施、二十五日○國鐵疑獄第三十回公判鳥田辯護人と佐藤檢事は「國賊問題」で衝突法廷波瀾○山陽線列車惨事の責任者三名業務上過失列車顛覆破壞同致死傷害罪として起訴、二十五日○宇垣外相の兼任拓相親任式、二十六日○司法省内に物資調整委員會を設置するに決定○陸海軍機南昌を大空襲戰史稀な低空戦を展開敵機約三十を撃墜○高橋部隊馬當嶺を攻略、二十七日○人民戦線派神戸支部長阪本福藏は神戸地方裁判所に於て懲役二年の判決○佛領印度支那國境の鎮南關より廣西省南寧に至る佛支鐵道借款成立、二十八日○軍機保護法違反で稚内區裁判所に於てソ聯船長に罰金判決○政府は閣議で「軍需品生産上必要なる勞務對策要綱」を附議決定國家總動員法第六條第二十一條を發動し来る八月實施と決定す、二十九日○堀の内火葬場の金齒拔取事件の太田安三等に懲役判決○逕信疑獄で係長收容、三十日○關東地方大豪雨東京麻布三井高公男邸の崖崩れて辯護士金森義徳氏夫人君代さん以下廿三名即死二十數名の重傷傷者を出す○京都大學教授醫學博士清野健次氏は高尾神護寺並に梅高尾山寺の寺寶を切切した疑いで太秦署に檢舉。

七月

一日○坤利號海賊事件の林濟臣以下火夫長機關士等十四名高岡支部で豫審終結○櫻丸船長本田庄次郎に禁錮八月を求刑○ソ聯リニシヨフ大將滿洲國に逃走○厚生省醫藥制度調査會官制公布○第七十三議會を通過した三大社會立法たる國醫職業紹介所法國民健康保險法社會事業法一齊に施行○商工省は皮革使用制限規則及皮革製品販賣價格取締規則を公布實施して皮革の使用制限を斷行○國家總動員審議會成立、二日○昨年八月十三日の渡洋爆撃以來去る六月中に至る迄の海軍機の擊破敵機千機を突破○日濠通商新協定キヤンペラに於て調印、三日○津山市疑獄事件判決○フランス海軍は西沙島を占領したと傳へらる○總額二百二十萬圓に上る寺寶を窃取せる京大教授人骨研究の世界的權威醫學博士清野謙次氏起訴前の強制處分、四日○全國七控訴院長管内で思想プロツク會議○海軍航空隊は南昌を奇襲敵機四十五を撃墜○敗戦に狂ふ蔣介石は軍の上級將校周祖晃等を處刑○細菌魔醫高橋貞三郎に死刑宣告(浦和地)○諏訪飛行士に執行猶豫の判決(横濱區)○山科豪農殺し長澤松之助に無期懲役の控訴判決(大阪)○我が週江海軍部隊江岸の要衝湖口を占領、五日○日滿伊通商協定調印を了す○土肥原中將凱旋、六日○四谷の女藥劑

師誇大廣告無罪(東京區)○山陽線慘事の機關士等不起訴○神奈川縣特高課再建共產黨の竹島芳雄檢舉○神戸市水害の死傷者七百四十一名に達す○六月上旬から中旬にかけてソ聯極東地方政府及黨幹部アムール州執行委員會議長ウオリスキー以下二十二名が銃殺に處され、青年共產黨員の除名二千名に達す○元ひとのみち教團初代教祖御木徳一逝く○國粹大衆黨笹川總裁等十九名豫審で有罪と決定(大阪地)、七日○人民戦線勢派初送局○大和の一家七人殺し吉桑敏一に死刑の判決(奈良地)○清野博士不祥事件の責任を感じ辭意を表明した濱田耕作京大總長の辭表を受理、八日○櫻丸船長本田庄次郎に禁錮六月の判決(大阪區)○宇野裁判長神兵隊事件被告の勾留を取消す○司法制度調査委員會官制正式決定、九日○米國大審院判事カドロー氏逝く、十日○少年雇人、東京市目黒區ベンキ職白井盛の主人一家七人と朋輩を斬る○清野博士竊盜で起訴、十一日○六十三萬圓を詐取した旭證券の重役山田慈露等檢事局に送致○電力案事件進展大石齋藤の二名留置○人民戦線の北田一郎送局(東京地)、十二日○小笠原三九郎代議士に當選效の控訴判決(名古屋控)○板舟權訴訟事件裁判初る○北支臨時政府、治安團體刑事條例を制定、十三日○松竹と日活との間に二百四十萬圓の債權肩替り調印成る○日本鋼管瓦斯事件の責任者麻島久治郎に禁錮四月執行猶豫三ヶ年の判決○東京月島沖で潮

干狩棒事十名行方不明となる、十四日○司法制度調査會官制公布○蔣政権の對英二千萬ポンドの借款申込を英國政府は拒絶せる旨傳へらる○ヒューズ機三日十九時十七分で世界を一周、十五日○第十二回東京オリムピック大會の中止及萬國博覽會の延期は閣議で正式決定○禁制の綿製品を販賣した横濱市織物問屋野上商店主野上正司檢察○比叡山天台宗門跡妻帶僧問題解決○滿獨修好條約は去る十三日ヒットウ總統の批准を経滿洲國政府に正式通告を了す○蒙疆察南自治政府では暫行土地法を公布施行日本人に土地所有權を認む、十六日○造兵廠疑獄の植村東彦假出獄○全國登記所執達吏役場、供託局に警休廢止の通牒○東京控訴院長更迭、木村尙達氏新任田中右橋氏定年退職○野田俊作代議士等に控訴判決(長崎)○物品販賣取締規則第一條に基き左記四品目の價格引上を禁止アルミニウム製品、アルマイト製品、ヒマシ油、カゼイン、十八日○司法制度調査委員會の第一回總會は司法大臣官邸に開催判檢事の教養に關する件を協議○中華民國臨時政府の神戸辦事處初代辦事處長王守善氏を迎えて開設○海軍航空隊の至寶南郷大尉南昌上空で壯烈戦死、十九日○神兵隊事件公判事實調べに入る、二十二日○政府は閣議で經濟警察制度創設に關する經費六十五萬圓を第二豫備金中より支出するの件を承認決定○滿洲國赤十字社創設に關する日本赤十字社との協定書並に細目協定

の調印日本赤十字社で行はる、二十三日○商工省の中央物價委員會では日用品として値上りに悩まされる石炭、綿製品、米の最高標準價格を決定○朝鮮の白々教事件豫審終結(京城地方法院)○大阪府會議員富田貞男外九名に係る瀆職事件控訴判決○北支臨時政府では最高立法機關たる議政委員會の議政會議規則を制定公布、二十四日○日獨通商協定の大綱決定に關し在ベルリン東郷大使とリッペンントロツプ外相との間に意見一致、二十五日○司法制度調査委員會第二回總會小委員を任命(委員長)池田寅二郎(委員)明石照男、有馬忠三郎、谷村唯一郎、八並武治、木村尙達、山岡萬之助、穂積重遠、瀨下清、遊佐慶夫、泉二新熊、吉益俊次、岩村通世、大森洪太、松阪廣政、井上登○東京杉重の殺人強盜小見山末次二番で死刑判決(東京控)○大阪以下一府五縣に亘る綿糸密賣事件檢舉解禁兵庫、岡山、静岡、愛知、滋賀、大阪の一府五縣に亘り被疑者百七十名を檢舉輸出向内地で密買された綿糸は二千餘捆二百八十萬圓に上る(岡山地)○日伊通商航海條約追加協定公布施行○東京織物問屋同業組合副長綿製品密賣で召喚○内務省の神宮關係施設調査會第四回總會は神都大聖地計畫(經費約二千六百九十萬圓)に關する内務大臣に對する答申を可決○太平洋捕鯨會社第二回新丸南極の土産千二百九十六頭を滿載代用品時代の非常時日本横濱に凱旋、二十六日○金光教管長のお家騒動大審

院で正家氏勝訴○美濃部博士狙撃の小田十壯に懲役三年の控訴判決(東京控)○二萬圓詐取の元代議士森昇三郎等送局(東京地)○漢口前衛の要衝九江陥落○姫路城爆破事件の松竹京都撮影所助監督楠田清等に控訴判決(大阪控)、二十七日○澁谷の二兒殺しに懲役二年六月の判決○北京臨時政府は事變後一ヶ年閉鎖されて居た山西省高等法院地方法院を開所する爲め一萬圓を支出し近く事務を開始するに決定、二十九日○勞農派と教授グループ人民戰線派十六名送局(東京地)、三十日○福岡市長河内卯兵衛氏起訴(福岡地)○大學總長の官選は建學の趣旨に反すと東京帝大側荒木文相の改革論に反對、三十一日○我軍は沙草峰南方地區に趣燒陣地を構築せるヲ聯兵を撃退沙草峰及張鼓峰を占領。

八月

一日○北支通信會社愈開業○商工省は民需向銅使用禁止を擴大二五七品目を指定した、改正銅使用制限規則を公布、八月十五日實施○鹽野法相四地方所長及檢事正と懇談司法官の地方實情研究を申合す○支那爲替崩落の爲め上海の物價俄に暴騰、三日○金商拔取事件の四七九名に一年乃至六月の懲役求刑、四日○國鐵疑獄第四十七回公判元鐵道省工務局長平井喜久松は豫審調書を全面的に否認○生きてゐる兵隊事件の石川達三等三名起訴(東京區)、六日○電力案

事件の全關係者釋放と決定(警視廳)、九日○岩手殖産銀行襲撃犯人中村清に懲役四年の判決(盛岡地)○大阪控訴院管内思想判檢事會議開く○被告四十名に及ぶ未曾有の京都執達吏役場疑獄事件に連座した藤原萬次等有罪○閣議は昭和十三年度歳出豫算中二億五千二百廿二萬八千圓の節約を正式決定△司法省所管節約總額は二十七萬圓○綿布販賣の太田商店に罰金判決(東京區)○福岡市會に解散命令を發す、十日○國家總動員審議會初總會開催○日ソ停戰協定露都にて成立、十一日○大元帥陛下には横須賀浦郷の海軍航空廠並に千葉縣木更津の海軍航空隊に行幸無敵海空軍の威容を憐なはせ給ふ○塚本商店支配人等に懲役三月の判決(東京區)○懇の憤恨の殺人犯に懲役十五年の判決(東京控)○大阪に司法懇話會生る、十二日○内務省警保局では從來の檢舉件數を巡査の成績決定標準としたるも之を廢して實質主義を採用するに決し全國府縣警察部に新方針を傳達○司法豫算省議經濟係判檢事増置費を決定○司法制度調査委員會小委員會は司法大臣官邸で開會司法官試補の修習期間の延長問題に付き協議○バルブ供給不足に鑑み商工省では新聞紙使用制限を九月一日より實施する爲め王子製紙及北越製紙兩社に對し輸出入臨時措法に基き命令を發す、十三日○百萬圓證券詐欺事件の旭證券株式會社專務取締役山田慈壽等起訴(東京地)○京都市瓦斯會社の滯納道路占用料五十餘萬圓

を差押ふ。○十二日、張鼓峰に於て折衝中の日ソ兩代表間に現地協定の覺書を交換兩軍後退に決定(陸軍省發表)。○我が海軍機敏修理中の粵漢線の鐵橋銀蓋物附近を爆破、十四日○福岡、栃木兩縣は全國に準先請願調査制度を廢止、十五日○福岡足袋社長等綿布統制違反で取調らる(大阪府)○綿糸密賣事件に連座した神戸の東亞貿易社長佐々木文雄氏自殺、十六日○小柳代議士に無罪の判決(東京控)○合百賭博の三百名を檢擧(東京久松署)○時局犯罪防遏の關東プロック會議開く○司法省は思想檢事を全國地方裁判所檢事局に増置の經費を計上思想犯の根絶を期す○日獨交驛のヒトラ・ユーゲンツ團長ライオンホルト・シユルツエ氏以下一行横濱に入港○朝鮮咸鏡北道慶興郡灰岩市内に大洪水○ソ聯の蕭清は軍上層部に擴大、スミルノフ海軍人民委員も逮捕監禁、十七日○北支臨時政府は日支關係の和協を目指した百五十五種に上る新教科書を編纂完成、十八日○司法保護事業法案要綱司法省議で決定○中央物價委員會第九回總會は農山漁村、工場勞働向けの買上綿製品、麻、木炭、鶏卵等の標準價格を決定發表、十九日○陸軍では近く兵役法施行規則を改正して第二補充兵に對する居住、移轉の制限を實施長期戦に對處することゝす○厚生省は軍需品工場の生産力を最高度に發揚し併て勞働力の保護を圖る交替制(就業十二時間以内)を實施するに決定地方長官宛通牒を發す、

二十日○大藏省では金使用の全面的許可制を設くる改正金使用規則(大藏省令第五十一號)を公布施行○鐵力地金十萬圓購入の大阪商人山田正一檢擧○シンガポールの華僑各國體は排日巨頭王焯之、年文華兩名の釋放を要求全市に亘つて總罷業決行、二十一日○ダラチエ佛首相四十時間勞働週制廢棄に關する放送に左翼反對し勞働相ラマサエ、土木相フロツサール辭表を提出、二十二日○禁制綿布販賣の小川源兵衛商店、堀越商店、大西靜吾商店の三商店に罰金判決、二十三日○第七十議會を通過した航空機製造事業法實施に關する左記三勅令案閣議で決定、一、航空機製造事業法施行期日の件、二、航空機製造事業法施行令制定の件、三、航空機製造事業法の一部を朝鮮に施行するの件○綿糸配給違反の榎戸吉等四名留置(警視廳)、二十四日○國家總動員法第二十一條に基く警察關係者職業能力申告令及同第六條に依る學校卒業者使用制限令公布施行○富山縣の吳服紡績に對する縣稅六十五萬圓の過剩徵收發見○カソリン統制違反に初の判決購買券なしで圓々業者に百十五ガロンを賣つた長友照美は東京區裁判所で略式で罰金百圓に處さる○綿布賣却の田端商店重役に罰金判決(東京區)○日本飛行學校と日本航空輸送會社機、東京市大森上空で衝突死傷百三十名(死者八十一名)を出す、二十五日○綿糸密賣の三光紡績の上田純三檢擧○滿洲上海兩事變關係の第三次論功行賞の第一回

分陸海軍一萬八百名に對し發表○四十時間制問題やマルセーユの勞働爭議フラン貨下落の調にフランスの國內閣争深刻化、二十六日○長野高一代議士に無罪の控訴判決(東京刑地)○日滿伊貿易協定全文滿洲國で發布(九月一日實施)三國の貿易關係愈緊密○學校卒業者使用制限令の施行規則及び適用される學校並に學科を指定する厚生省令施行○商工省は軍需鑛産物の需要増大に鑑み物資總動員を更に強化し鐵鋼殘材の買上を開始、二十七日○高岡市會に解散命令○警視廳では應召に依る警官の缺員を補充する爲め二百名の少年警官を近く採用管下各署に配置するに決す○鹽野法相十七地方裁判所に民事部長を配置する訓令を發す浦和、千葉、靜岡、甲府、長野、新潟、德島、高知、岐阜、金澤、岡山、長崎、大分、仙臺、秋田、札幌、函館、二十八日○拿捕邦船太平洋漁業大成丸等の乗組員四十八名領海侵犯で起訴○全國の經濟統制諸法令違反九千八百一件に上る二十九日○竹村綿糸社長竹村信一等收容(大阪地)○福助足袋會社の重役妹背義一郎等五名起訴○東京辯護士會は全國に對して出征軍人遺家族法律相談部を開設無料相談受付を開始、三十日○養母殺し元明大選手長谷部清良に死刑判決(大阪控)○輸出入品臨時措置法違反事件の市田商店に三千圓の罰金判決(東京區)○東洋棉花支店長大下眞吉等六名收容(大阪地)、三十一日○金齒拔取事件の岡本松之助外五十一名判決(東京

區)○南支に於ける敵の空軍根據地南雄を急襲せる我が海軍飛行隊は同飛行場上空で敵機十七機を擊墜我方二機を失ふ○ソ聯海軍當局は數ヶ月前海軍司令長官オルロフ・パルチツク以下ソ聯海軍の十巨頭を銃殺刑に處せしと發表○商工省は第十回中央物價委員會を開き、買上及解除綿製品洋紙、ゴム製品等七種目の標準價格(市價また一割乃至二割下げ)を決定○天津の英佛兩租界の邦人に總引揚命令を發す。

九月

一日○大正六年以來二十年振りの猛飈風帝都に襲來帝都の全半壊五百戸、浸水千戸、二日○和議異議事件に武藏野鐵道勝訴(大審院)、三日○英國貨物船ベシモア號と原田汽船盛運丸の衝突事件五十萬圓で示談成立(横濱地)○綿製品密賣に大阪で初體刑の判決○朝鮮獨立陰謀事件送局(京城地方法院)、三日○司法省秘書課長更迭船津宏氏大審院檢事へ、岡五朗氏司法大臣秘書官大臣官房秘書課長へ○南潯鐵路の要地馬廻嶺を占領○飯塚國五郎部隊長は廬山山麓の頑敵授瀆職中壯烈なる戦死を遂ぐ、四日○司法保護委員五千名近く任命、五日○「生きてゐる兵隊」筆禍事件判決▲禁錮四月、執行猶豫三年石川達三▲同上、同上元中央公論編輯長雨宮庸藏▲罰金百圓元同發行入牧野武夫(東京區)○大阪の五大紡績會社中井繁一綿糸配給統制違反で檢擧、六日○去る五日西日本を

襲つた颱風の被害状況内務省より發表、死者二十三行方不明十〇ナチス第十回黨大會ニユールンベルグで開催〇日活紛議の和議條件成立(東京區)、十二日〇綿布及皮革統制違反に罰金判決、松井良輔等に依る綿布製造販賣制限規則違反事件は略式命令に依り松井は三百圓、水野は五百圓の罰金刑に處され更に皮革禁令に違反した四名に夫々略式命令で罰金刑を宣告、十三日〇禁綿違反のシャツ商杉津衛二郎に罰金判決(東京區)〇司法省では司法記念日に當り懸案の司法保護委員制度を實施し銃後の人的資源確保に乘出す、十四日〇商法改正調査委員に叙勳賜杯授旭日大綬章原嘉道、叙勳一等授瑞寶章松本蒸治、授旭日中綬章大森洪太、銀杯一組下賜平沼驥一郎、長島毅、池田寅二郎、岩田宙造、田中耕太郎、銀杯一個下賜加藤正治、穂積重遠、片山義勝、松波仁一郎、大島雅太郎、奥村政雄、小町谷操三、森田豊次郎、横田正俊、辻朝郎〇ズデーテン獨逸人チエコ警備兵と國境アルケナウで衝突市街戦を展開死傷九十六名を出す、十五日〇綿布密賣岡正商店に罰金判決(東京區)〇天津の英佛兩租界當局は我方と協力して同地の抗日共産分子の取締を行ふ布告を發す、十六日〇警官等殺傷事件の町會議員小菅英作に懲役五年の判決(熊谷支部)〇百萬圓の巨利を得たポーランド人等國際密輸入團神戸で檢舉(解禁)〇海軍陸戰隊は勇躍敵前上陸し長江の壘壘武穴を攻略、十七日〇重

井前代議士に懲役三年の判決(岡山地)、十八日〇山崎常吉代議士に當選無効の二審判決(名古屋控)、十九日〇山崎常吉代議士に當選無効の二審判決(名古屋控)、九日〇國際聯盟理事會は支那の提訴に依り日本に招請狀を發す〇チエコ問題の平和的解決案三項目ロンドンに於ける英佛首腦者會議で成立、二十一日〇チエコ政府はズデーテン地方分割に關する英佛共同解決案を受諾、二十二日〇支那南北兩政府の聯合機關成立、二十三日〇辯護士中林祐一氏外十三名司法官に任命、二十六日〇殺人女形村瀬宏に死刑判決(浦和地)〇大阪市警渡船櫻丸船長に執行猶行の判決(大阪地)、二十七日〇一・二・五事件の小岩井淨に懲役二年の控訴判決(大阪控)〇國際聯盟理事會は日本の拒絶回答を審議したる後日支間に戰爭狀態ありと認定規約策十六條を適用するに決定、二十八日〇東京區裁判所検事局で經濟係檢事を増置、二十九日〇森榮藏代議士に罰金五百圓の控訴判決(大阪控)〇殺人軍曹佐藤丑藏に懲役七年の判決(二師軍法會議)〇宇垣外相首相官邸に近衛首相を訪問對支中央機關の陸海外三省事務當局成案に反對辭表提出〇我が長江北岸進撃部隊は武漢防備の大要塞田家鎮を占領、三十日〇東京府警籍疑獄事件鶴岡長三郎(六四)等二十名に控訴判決(東京控)〇元代議士中島守利等八名の選舉違反事件に控訴判決(東京控)〇近衛首相外相相兼任〇司法制度調査會總會司法官の素質向

上策を審議す。

十月

一日〇商店法實施〇人民戰線派教授グループの四名收容有澤廣巳阿部勇、大森義太郎、向坂逸郎、(東京刑地)〇元田肇氏逝く〇ズデーテンの第一次割讓地域ドイツ軍無事占領〇辯護士から馬場源太郎氏等八司法官任用、五日〇聖慮長し、假釋放で今事變に應召武勳を樹て、歸還した熊本市出身本田明(假名殺人罪懲役三年)に對し恩赦令第五條前段に依る特赦の恩命下る〇金齒採取事件判決(東京刑)〇河合榮治郎氏の四著書發賣禁止となる社會政策原理、フアシズム批判、時局と自由主義、第二學生生活〇日本航空輸送會社の東京、北京、福岡南京を結ぶ對支定期航空新路線開設の第一便就航、六日〇夕張炭礦ガス爆發大慘事死亡二十三名負傷二十七名百二十八名は生死不明となる〇河南省羅山より西進せる我が軍は京漢線信陽南方五里の柳林驛を爆破京漢線の大動脈を遮斷、七日〇全國少年審判所長並に矯正院長會同司法大臣官舎にて開催〇日大專門部崔民山外二名は半島新聞を日大學生懇親會席上で披露、反戰思想の宣傳を爲した嫌疑で警視廳に檢舉〇ペルー國は國際聯盟理事對日制裁決議に基き反日的措置を執らずと我外務省に打電〇イタリーのファシスト大評議會は人種混血の齎す政治的危險を強張、ユダヤ人排斥法の

適用範圍を擴張、八日〇ローマに於ける英伊交渉英國はイタリーのエチオピア併合を承認し、イタリーはスペインの義勇軍を撤兵するに決定〇チエコ領内コマルノで行はれたチエコハンガリー兩國代表會議は、ハンガリーの要求を容れチエコ領土の一部(ノグエメスト停車場及サヒー市)を割讓するに決定、十日〇民事裁判法合同第一回改正商法等實施準備打合せ〇東京杉並の殺人鍍金職小見山末次の死刑確定、十二日〇我陸海軍の新鋭部隊は南支バイアス灣に奇襲上陸す、十三日〇綿製品販賣制限の一部解除と鋼製品製造制限の強化〇大阪でドル買外人スイス人ミユーラ等三名檢舉〇東京司法懇話會開催〇關西司法保護事業聯盟發會式大阪中央公會堂で舉行、十五日〇司法制度調査委員會總會諮問第一號「司法官の素質向上に關する件」を可決〇軍機保護法違反のノルウェー汽航運轉士クラウコンに罰金刑(横濱區)〇東京羽田飛行場で海軍へ獻納された全國刑務所收容者の赤誠から成つた至誠號の命名式行はる〇事變地を除く内地部隊に編入中の將兵(現役、豫備、後備、補充)の服務期間を延長する陸軍省令を公布施行、十六日〇鹿免島縣大隅半島一圓の颱風水禍甚大〇我軍石龍東南樟木頭南方で廣九鐵道を遮斷〇楊子江岸大治鐵山の關門石灰密陥落、十九日〇徳王以下蒙疆三自治政府首腦者一行來朝〇皇軍大治鐵山を占領、二十一日〇濱松の二重白骨事件の長谷川善作等に死刑

の控訴判決(東京控)○巡查殺し柏木慎一に無期懲役の判決(札幌地)○廣東市陥落、二十二日○帝大航空研究所關係和田小六外七氏に叙勳賜杯、二十三日○滿洲國間島省延吉營林署の木材疑獄檢舉、二十四日○美濃部博士襲撃事件の小田十壯上告棄却○思想實務家會同、二十五日○新鋭驅逐艦「黒潮」進水○廣田元首相を狙つた渡邊に禁錮三年の二審判決(東京控)、二十六日○我軍漢口入城、二十七日○中村不二男代議士に罰金判決(長崎控)○大學總長等推薦問題に關する東大對文部當局の紛糾も圓滿解決○武漢三鎮陷落、二十九日○外務大臣有田八郎及拓務大臣八田嘉明親任、三十日○司法省は實質犯に重罰を以て臨む選舉法改正方針を聲明○大阪商工會議所が大都市裏判所に商事部設置を司法省に答申○國家總動員會議會三勅令案を可決一、學校及養成所に於ける技能者の養成に關する勅令案一、工場事業場に於ける技術者の養成に關する勅令案一、事業設備の新設、擴張又は改良に關する勅令案○イタリヤ政府は支那事變後駐屯の上海陸兵を撤退する旨申入る。

十一月

一日○ポーランド・チエツコ間の國境線劃定協定の調印○二日、樞密院本會議は帝國と「國際聯盟諸機關との協力關係終止の件」を全會一致を以て原案通り可決帝國政府は此旨アブノール國際聯盟總長に通

拓務三省の昭和十四年度新規要求經費を査定したが司法省所管の分左の如し一、刑務所軍需作業施設費六、五〇〇一、多額納税議員及府縣會議員選舉檢察費一、一三〇支那北方政界の巨頭吳佩孚氏武漢陥落後の新狀態に鑑み駆起、北京臨時政府への協力を決意十五日○鈴木憲太郎代議士に當選無効の控訴判決(長崎控)○文官制度改革に關する監野法相、末次内相、木戸厚相の三相會議にて文官の身分保障は全廢するに決定、十六日○元大審院長横田秀雄氏逝く、行年七十七○英國政府は正式にイタリヤのエチオピア併合を承認、十七日○五・一五事件の橋孝三郎以下六名並に血盟團事件の井上昭以下九名特別減刑の聖恩に浴す○英米互惠通商條約調印、十八日○監野法相は鹽野、末次、木戸の三相會議で成案を得た文官制度改革案を閣議に報告説明全閣僚の承認を得○大藏當局は總動員法第十一條發動に賛意を表し紛糾を極めた十一條問題も政治的解決成り、諸會社の利益金配當は一割を限度とするに決定、十九日○東京澁谷の人妻殺し水澤三男に無期懲役の判決(東京地)、二十日○恨みの放火鈴木豊作に懲役二年の判決(東京刑事地)○樞密院本會議日獨文化協定案を政府原案通り可決○東亞新經濟プロツクの結成を目指す日滿支經濟三國懇談會は東京に開催○巡查殺し竹村政則に執行猶豫の判決(高知地)、二十三日○百萬圓果實の密輸入者千疋屋等四名横濱で檢舉、二十

告○司法省刑事局の調査に依る經濟關係法令違反事件は十月三十一日現在で全國の起訴者千十四人に上る、三日○近衛首相は武漢陥落後の新態勢に對處する帝國不動の方針を中外に闡明する我が政府の歴史的重大聲明を發表○中華民國政府聯合第二次會議委員會は南京維新政府行政院で反共救國宣言發表式を舉行○米國國務省は九國條約の有効性を強調し日支間の紛争は之に依つて解決さるべき旨の文書を發表五日○議會制度審議會貴族院制度小委員會は「公侯爵議員の世襲制を廢止し互選とする」改正項目を可決○恩賜財團軍人援護會成立、七日○巢鴨の若妻殺し中根一郎に懲役七年の控訴判決(東京控)○司法實務家會同○司法研究所設置案決定、八日○東大總長長與又郎氏辭任、九日○百萬圓事件の福田清次等に懲役八年の控訴判決(東京控)○海の荒鷲敵機千四百十五を撃破(大本營海軍報道部)、十一日○平塚市疑獄事件上告棄却○警視廳初の試みとして少年警察官志願者六百名を嚴選第一次七十名を採用と決定○岳州陥落、十三日○佐伯前京城府尹瀆職嫌疑で收容○聯邦ドイツ防共交際の旅を續けた我が訪獨青少年團一行東京歸京○眞野高橋兩部隊陸海線を遮斷○北海道屯田兵の恩給詐欺事件不起訴(旭川檢事局)、十四日○リソチ共産黨事件豫審終結○司法科試驗改正要綱司法省議で決定○昭和十四年度歳出豫算八十億圓を突破○大藏省の第一回豫算省議で司法、選信

五日○自動車強盗加藤力蔵に懲役四年の判決(大阪地)、二十六日○鐵道反者殿畑商店等に罰金判決(東京區)、二十八日○白痴の甥殺し番道たかえに執行猶豫の判決(東京刑事地)○新宮鐵道疑獄事件の藤原利市等に控訴判決(大阪控)○改正刑法各論草案脱稿○選舉法違反の沖島代議士等三氏無罪(大審院)二十九日○開かぬバラシエト事件野中宵人氏に無罪判決(東京區)○福助足袋社長辻本豊三郎等の瀆職事件大審院で破毀、原審大阪控訴院に差戻さる○藤島みつさんを絞殺した元通信省航路標識看守白神最平に死刑の判決(東京刑事地)○南京に開かれた中國新政權促進大會第二日は中支全民衆の要望に依り蔣介石に下野勸告の通告を發す○揚子江航行問題に關し及川支那方面艦隊司令長官は蕪湖上流の外國軍艦は一回限り下流の軍艦と交代を容認する旨各國指揮官に通告す○南支、深圳に於ける國境事件は我が後藤部隊長とリグス少將等の會談の結果日英兩國陸軍に關する限り圓滿解決、三十日○選舉違反の升田憲元、内部彦四郎兩氏に無罪の判決(大審院)○社金費ひ込みの妻殺し木野徳次郎に懲役四年の一審判決(東京列地)○北大學生の赤北事件一味十名起訴猶豫(警視廳)○ドイトの親善訪日機コンドル號立川陸行場に安着○チエツコスロバキヤ大審院長エミールハツチャ博士は同國新大統領選舉に當選。

十二月

一日○國民再組織案八相會議で原案通り可決○滿洲國勞務統制法公布施行○京漢線の復舊は江畑、森兩部隊の努力に依り漢口信陽間に處女列車を運轉、二日○明年度豫算三十六億九千萬圓、司法省所管の昭和十四年度豫算概算は五千二百萬圓に上る、三日○人妻斬り富田久治に懲役三年の判決(東京刑事地)○出軍人遺家族間の紛争に家事事件調停法を制定、明年七月から實施する豫定で之に要する經費二十一萬六千圓は豫算閣議で承認せらる、四日○露人貿易商エー・エム・ネトフスキーに罰金二萬圓(横濱區)、五日○國家總動員審議會四勅令案を原案通り可決一、一般國民の職業能力に關する勅令案要綱(總動員法第二十一條に依る)一、船員の職業能力に關する勅令案要綱(同上)一、船舶運航技能者の養成に關する勅令案要綱(同第二十二條に依る)一、從業者雇入制限に關する勅令案要綱(同第六條に依る)○人民戰線事件の猪俣津南雄、荒畑勝三起訴收容(東京地)○日曹鑛業支配人横田春吉召喚留置(警視廳)○東京帝國大學で開催中の日支學術提携を旨とする東亞文化協議會第一回總會を終る、六日○ひとのみち教團瀆職事件の加藤卷三等に判決(大阪地)○樞密顧問官四名親任林頼三郎、潮惠之助、深井英五○コンドル號マニラ南方カグイテ沖に不時着機體は沈没せらるも乗

員六名全部救助さる、八日○控訴院長檢察長會同○海軍では時局に鑑み大分(大分縣)筑波、鹿島(何れも茨城縣)航空隊を開設するに決定、九日○市田商店の禁綿違反事件判決(東京刑地)○神戸のドル買外人ジョセフ・グイトカ等に罰金十萬圓の判決(神戸區)○缺員中の勅選補充八名決定發令賀屋興宣、吉野信次、安井英二、千石與太郎、米山梅吉、岩永裕吉、建部進吾、井上通泰○杉山元大將北支方面最高指揮官に親補せらる、十日○司法制度調査會の刑事事件處理問題の審議進む○日曹鑛業事件で鈴木寅彦氏召喚(警視廳)、十一日○昭和七年以來警視廳勞働課に設置され數次の共産黨事件を檢舉した左翼係は時變下に左翼勞働組合の潰滅に伴ひ解消、十一日○大藏省では國家總動員法第十一條の發動に關聯して戰時金融機關の整備方策として日本興業銀行を擴充(一億圓に増資)するに決定、十二日○西宮署瀆職事件判(決神戸地)○經濟關係法令違反の西村末次郎等十名に罰金判決(大阪區)○前北支方面最高指揮官寺內壽一大將歸還、十三日○義憤の殺人本間十三雄に執行猶豫の判決(東京刑地)、十三日○國家總動員法第十一條の三項目(配當制限及會社の經理に關する政府の監督權並強制貸付)は大藏省議で愈々發動と決定、十四日○樞密院本會議は、樞密院官制中改正の件(同院御諮詢事項整理に關する勅令案)を可決、十五日○ひとのみち不敬事件公判開始、十六日○故島德藏

故島德藏愛國貯金銀行元頭取岡甫等七名に係る愛國貯金の二百萬圓責任横領事件控訴判決懲役一年六月(三年間執行猶豫)岡甫○興亞院總務長官に柳川平助陸軍中將が任ぜらる○二千五百萬圓の對米、支那借款成る○支那人を含む約三百名の米國人勞働者サンフランシスコ埠頭で、日本向け鐵屑積込中のギリシヤ貨物船に反日デモを行ひ氣勢を擧ぐ、十七日○死運れた子殺し松本千代に執行猶豫の判決下る○人戰派大學教授大内兵衛等五名起訴△起訴者大内兵衛、脇村義太郎、美濃部亮吉、南護二、芹澤彪、△不起訴者笠川金作、豊川榮太郎○舊冀東政府通州犧牲者に百二十萬圓支出○對支處理方針を協議する興亞院會議内閣に新設、十九日○人民戰線派東大經濟學部教授大内兵衛、東大助教授脇村義太郎、元法大教授美濃部亮吉、同南護二、元巢鴨高商教授芹澤彪の五名收容さる○有田外相在京外國人新聞記者に對し日、滿、支三國一體の興亞外交に關する帝國の方針を説明○群馬縣群馬郡岩鼻村の陸軍火工廠岩鼻製鐵所爆發し十三名即死○佛海軍は佛領印度支那南部カムラン灣に佛極東艦隊根據地とする爲め要塞構築土地收用を宣言、二十日○東北帝大宇野弘藏助教授治安維持法違反で起訴收容○滿洲國河川法公布施行さる○元商工參與官民政黨代議士寺島權藏の選舉違反事件は名古屋控訴院で審理中罰金三百圓、當選無効の判決下る○東京帝國大學第十六代總長に平賀博

士就任○ブリュッセル元師は前内務人民委員エジヨフに依り銃殺された旨モスコより傳へらる、二十日○岡山、兵庫、大阪、廣島の四府縣に亘る禁綿違反事件に判決岡山地方裁判所江本裁判長から十二會社以下五十九被告に判決を宣告(全被告中三名が體刑となつた外何れも罰金刑で最高三千圓から最低三百圓○イタリ政府は去る十七日佛伊協定廢棄の通告を佛政府に發したと發表○綿工聯前副理事長元代議士舞田壽三郎の横領事件に絡まり、大阪新町署に召喚取調べを受けてゐた前常務理事六湯平吉等綿工聯本部數地の買収に當り三萬五千餘圓を横領した嫌疑で收容○近衛首相は日支國交調整に關する帝國政府の根本方針に關する重大聲明を發表。

司法職員錄 (法律新聞社調)

司法部 (昭和十五年一月十五日現在)

大 臣 木村尙達
 次 官 三宅正太郎
 民事局長 坂野千里
 刑事局長 黑川涉
 行刑局長 秋山要

裁判所、検事局

大 審 院 院長 泉新熊
 次長 岩村通
 検事長 霜橋太郎
 検事長 松山精一
 佐々木良一
 島野並助
 中野並助
 杉浦忠雄
 西村忠
 立石悦之助
 浦和地方法 検事正長 帶金悦之助

職員錄

(司法部、裁判所検事局)

千葉地方法 検事正長 白井茂助
 水戸地方法 検事正長 佐藤慎修
 宇都宮地方法 検事正長 龜山健一
 前橋地方法 検事正長 上條桂一
 静岡地方法 検事正長 秋山倍忠
 甲府地方法 検事正長 兩角誠彦
 長野地方法 検事正長 石井壽太郎
 新潟地方法 検事正長 中村保則
 大阪控訴院 検事正長 長島毅
 京都地方法 検事正長 福地季吉
 大阪地方法 検事正長 赤野三郎
 遠藤常壽

職員錄

(裁判所檢事局)

神戶地方	奈良地方	大津地方	和歌山地方	德島地方	高松地方	高知地方	名古屋控訴院	名古屋地方	安濃津地方	岐阜地方
檢所事	檢所事	檢所事	檢所事	檢所事	檢所事	檢所事	檢院事	檢所事	檢所事	檢所事
正長	正長	正長	正長	正長	正長	正長	長長	正長	正長	正長
和成田	香川茂	窪田幹	柴田貞	芳野郁	大野惠	古賀才次	大森洪平	松田孫治	橋川喜三	磯田沼金
一次	環正	雄太	輝	郎三	郎眼	郎作	平太	七郎	正次	郎造

福井地方	金澤地方	富山地方	廣島控訴院	廣島地方	山口地方	岡山地方	鳥取地方	松江地方	松山地方	長崎控訴院
檢所事	檢所事	檢所事	檢院事	檢院事	檢所事	檢所事	檢所事	檢所事	檢所事	檢院事
正長	正長	正長	長長	長長	正長	正長	正長	正長	正長	長長
佐久間	村上	並田	高橋久	鈴谷敏	安岡碩	友真四	吉田茂	江橋久	國波良	近元二
治二	彦道	久	久	行人	郎	郎	郎	郎	郎	郎

職員錄

(裁判所檢事局)

長崎地方	佐賀地方	福岡地方	大分地方	熊本地方	鹿兒島地方	宮崎地方	那霸地方	宮城控訴院	仙臺地方	福島地方
檢所事	檢所事	檢所事	檢所事	檢所事	檢所事	檢所事	檢所事	檢院事	檢所事	檢所事
正長	正長	正長	正長	正長	正長	正長	正長	長長	正長	正長
白井清	宮重兵衛	宮山武三	大原利文	水田正之	岩村勝之助	石田伊太	後藤省三	淺沼猪助	佐藤伊惣	青阪山口
門	吉	郎	文	之	助	三	郎	助	治	治

山形地方	盛岡地方	秋田地方	青森地方	札幌控訴院	札幌地方	函館地方	旭川地方	釧路地方	樺太地方
檢所事	檢所事	檢所事	檢所事	檢院事	檢院事	檢所事	檢所事	檢所事	檢所事
正長	正長	正長	正長	長長	長長	正長	正長	正長	正長
菅波	松藤	西岡	谷津	本野	堀下	日高要次	德永榮吉	熊澤雅	伊田前
憲	吉	次	二	郎	郎	郎	郎	郎	郎

職員錄 (辯護士會役員)

辯護士會役員 (印は重任)

東京辯護士會	副會長	桑名	清瀨
第一東京辯護士會	副會長	石岡	清瀨
第二東京辯護士會	幹事	小方	清瀨
橫濱辯護士會	副會長	井上	清瀨
浦和辯護士會	副會長	關田	清瀨
千葉辯護士會	副會長	信太	清瀨
水戸辯護士會	副會長	高田	清瀨

宇都宮辯護士會	副會長	石田	長隆
前橋辯護士會	副會長	上原	美隆
靜岡辯護士會	副會長	杉原	卓郎
甲府辯護士會	副會長	根上	一郎
長野辯護士會	副會長	中澤	二郎
新潟辯護士會	副會長	小村	二郎
京都辯護士會	副會長	天谷	二郎
大阪辯護士會	副會長	柴田	一郎

職員錄 (辯護士會役員)

神戶辯護士會	副會長	五平	野川
奈良辯護士會	副會長	福川	常三
大津辯護士會	副會長	山本	知光
和歌山辯護士會	副會長	植島	周哲
德島辯護士會	副會長	谷原	公助
高松辯護士會	副會長	河川	善太郎
高知辯護士會	副會長	大西	正陽
名古屋辯護士會	副會長	菅尾	武次
三重辯護士會	副會長	米本	清源

岐阜辯護士會	副會長	小岩	忠次郎
福井辯護士會	副會長	橋本	一博
金澤辯護士會	副會長	益谷	幾藏
富山辯護士會	副會長	櫻井	治吉
廣島辯護士會	副會長	高木	一茂
山口辯護士會	副會長	秦賀	太郎
岡山辯護士會	副會長	千弘	重太郎
鳥取辯護士會	副會長	林本	永爲
松江辯護士會	副會長	栗山	政太郎

職員錄 (辯護士會役員)

松山辯護士會	副會長	佐原田光三郎
長崎辯護士會	副會長	岩松繁篤
佐賀辯護士會	副會長	香永田廣一
福岡辯護士會	副會長	和智英昂
大分辯護士會	副會長	豐田孝知
熊本辯護士會	副會長	大森勝清
鹿兒島辯護士會	副會長	松尾榮一
宮崎辯護士會	副會長	江川甚一郎
那霸辯護士會	副會長	富山敏之
仙臺辯護士會	副會長	椎名重司
福島辯護士會	副會長	北川保藏
山形辯護士會	副會長	柳沼次郎
盛岡辯護士會	副會長	河野喜藏
秋田辯護士會	副會長	鈴木安三郎
青森辯護士會	副會長	川口榮之郎
札幌辯護士會	副會長	村松代三
函館辯護士會	副會長	納田信二
旭川辯護士會	副會長	大塚一守
釧路辯護士會	副會長	飯島安三郎

職員錄 (終)
職員錄 (辯護士會役員)

樺太辯護士會	副會長	平敷安亮
京城辯護士會	副會長	李長野一
大田辯護士會	副會長	田中忠見
咸興辯護士會	副會長	申本德五郎
清津辯護士會	副會長	赤木輝夫
平壤辯護士會	副會長	崔基文
新義州辯護士會	副會長	李熙一
海州辯護士會	副會長	鄭順錫
大邱辯護士會	副會長	孫致殷
釜山辯護士會	副會長	朴雨源
同會長	小寺俊三	
同會長	金川威	
同會長	李長儀	
同會長	久永麟	
同會長	山哲一	
同會長	長尾德一	
同會長	吳景一	
同會長	張室興	
同會長	芝風	
同會長	歐沼榮	
同會長	中山孝	
同會長	鈴木重一郎	
同會長	田村詢一郎	
關東州辯護士會	副會長	田村詢一郎

事件索引

民事ノ部 (大審院)

九五一	九六六	九六七	九八一	九八六	九八七	九九一	九九六	〇四〇	〇四四	〇四五	〇六五	〇六八	〇八四	〇九二	一〇八	一三八	一四一	一四四	一五〇	一五七	一七八
一一三	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一
五・一三	〇・四	二	二・九	一	一	一	一	四・九	九・五	二・四	三・一	二・八	一・〇	三・二	四・二	〇・三	二・五	〇	一・三	二・四	二・五
民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三

五

事件索引 民事ノ部 (大審院)

四一〇	四六五	四六六	四七〇	四九八	五一三	五一七	五三七	五三五	五七九	六一三	六二六	六三〇	六三二	六四一	六五五	六七七	六七九	六八四	六八五	六八九	七〇八	七一三	七二四	七三〇
一一二	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一
五・二一	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六	民一〇・三六
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三

四

(才)一四三六	一三	二二	二二	三三	民訴	三三
(才)一四三二	一三	二二	二二	三三	民訴	三三
(才)一四六一	一三	二二	二二	三三	民訴	三三
(才)一四六六	一三	二二	二二	三三	民訴	三三
(才)一四七六	一三	二二	二二	三三	民訴	三三
(才)一四九三	一三	二二	二二	三三	民訴	三三
(才)一四九八	一三	二二	二二	三三	民訴	三三
(才)一四九九	一三	二二	二二	三三	民訴	三三
(才)一五〇三	一三	二二	二二	三三	民訴	三三
(才)一五二四	一三	二二	二二	三三	民訴	三三
(才)一五三七	一三	二二	二二	三三	民訴	三三
(才)一五四三	一三	二二	二二	三三	民訴	三三
(才)一五六二	一三	二二	二二	三三	民訴	三三
(才)一五七一	一三	二二	二二	三三	民訴	三三
(才)一五八二	一三	二二	二二	三三	民訴	三三
(才)一五九〇	一三	二二	二二	三三	民訴	三三
(才)一六〇一	一三	二二	二二	三三	民訴	三三
(才)一六〇四	一三	二二	二二	三三	民訴	三三
(才)一六一一	一三	二二	二二	三三	民訴	三三
(才)一六二五	一三	二二	二二	三三	民訴	三三
(才)一六三七	一三	二二	二二	三三	民訴	三三
(才)一六三九	一三	二二	二二	三三	民訴	三三

(才)一七九九	一三	五	七	民三諸	二五
(才)一八〇九	一三	三	一六	商全	民訴二二
(才)一八一四	一三	二	四	民五	一九
(才)一八一七	一三	二	二	民	一七
(才)一八二〇	一三	七	五	民一六	二五
(才)一八二二	一三	七	二六	民訴	三三
(才)一八二七	一三	七	二六	民訴	三三
(才)一八三六	一三	二	二八	商	八〇
(才)一八六三	一三	二	二六	民	四〇
(才)一八六六	一三	二	二八	民訴	一〇
(才)一八七四	一三	三	三〇	諸	二五
(才)一八七六	一三	三	一五	民	三
(才)一八七九	一三	二	一五	民二	二五
(才)一八九〇	一三	二	一五	民〇五	民訴五〇
(才)一九二二	一三	四	三〇	民一〇五	一〇六
(才)一九四〇	一三	二	八	諸一七	七六
(才)一九四二	一三	四	八	商	五
(才)一九六九	一三	三	一	諸	一三
(才)二〇〇四	一三	三	九	民	四〇
(才)二〇〇七	一三	三	二九	商三	三三
(才)二〇一七	一三	五	一七	民訴	五〇
(才)二〇二一	一三	三	二八	民	三〇

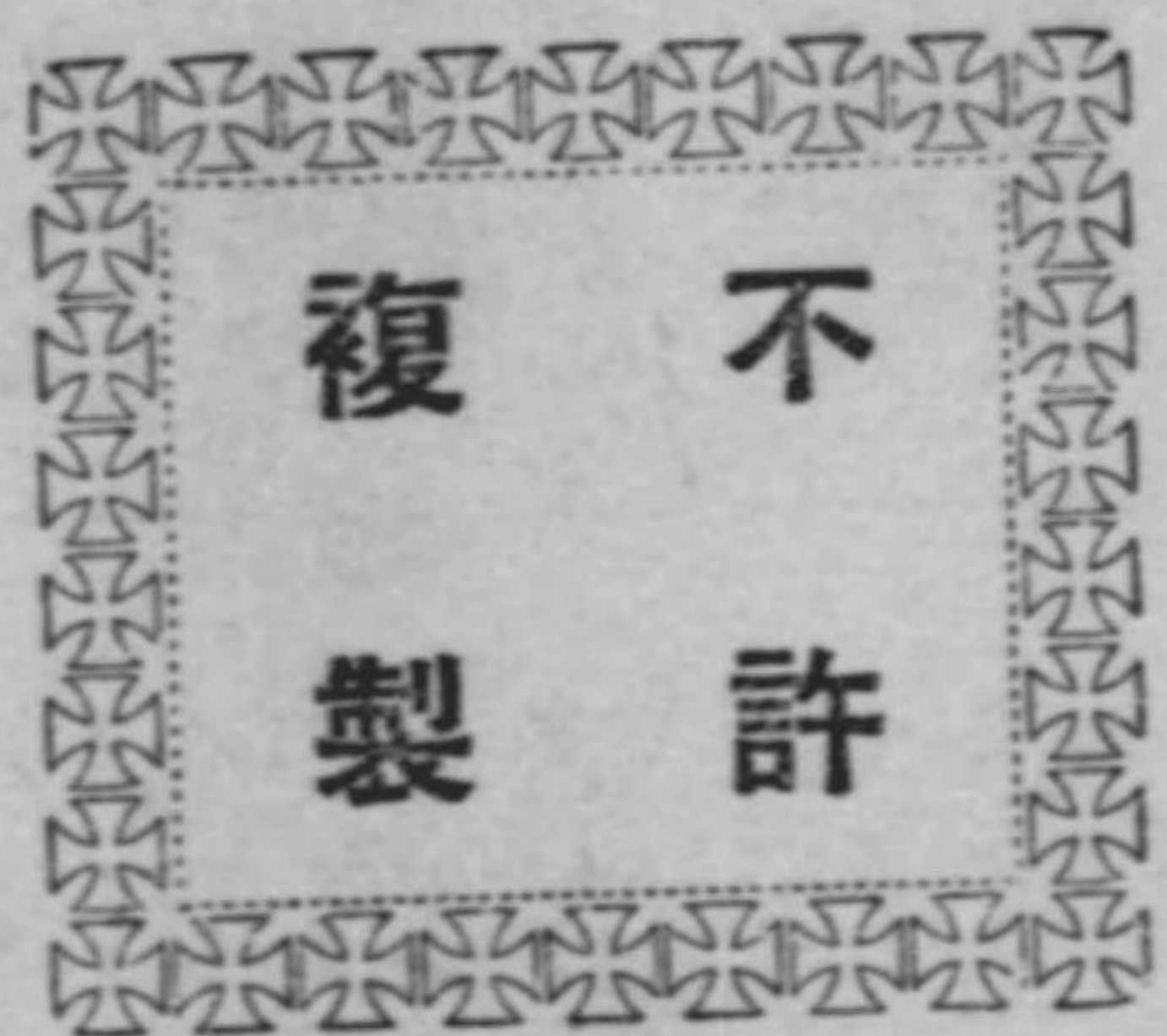
一三(才)	四八五	一三	七・七	民	六
一三(才)	五〇〇	一三	六・二七	民	三六
一三(才)	五二八	一三	七・九	民	八〇
一三(才)	五三五	一三	七・一	民	二九
一三(才)	五四三	一三	八・二七	民	八
一三(才)	五四八	一三	七・二〇	民	八
一三(才)	五五〇	一三	七・一	民	九
一三(才)	五五二	一三	九・二八	民	九
一三(才)	五七二	一三	八・二九	民	三
一三(才)	五八五	一三	〇・一五	民	三五
一三(才)	六〇八	一三	七・一五	民	七
一三(才)	六一一	一三	七・三〇	民	五
一三(才)	六二二	一三	七・一六	民	六
一三(才)	六三二	一三	一・一六	民	六
一三(才)	六六九	一三	七・二二	民	五
一三(才)	七三七	一三	九・二八	民	一〇
一三(才)	七五八	一三	九・一四	民	四
一三(才)	七六三	一三	一・二六	民	四
一三(才)	八〇二	一三	七・二〇	民	五
一三(才)	八一七	一三	〇・一	民	六
一三(才)	八六二	一三	七・二〇	商	六
一三(才)	九一二	一三	九・一〇	民	三
一三(才)	九三二	一三	九・一〇	民	三
一三(才)	九六一	一三	八・九	民	三
一三(才)	九六三	一三	一・一六	民	三

一三(才)	四八五	一三	七・七	民	六
一三(才)	五〇〇	一三	六・二七	民	三六
一三(才)	五二八	一三	七・九	民	八〇
一三(才)	五三五	一三	七・一	民	二九
一三(才)	五四三	一三	八・二七	民	八
一三(才)	五四八	一三	七・二〇	民	八
一三(才)	五五〇	一三	七・一	民	九
一三(才)	五五二	一三	九・二八	民	九
一三(才)	五七二	一三	八・二九	民	三
一三(才)	五八五	一三	〇・一五	民	三五
一三(才)	六〇八	一三	七・一五	民	七
一三(才)	六一一	一三	七・三〇	民	五
一三(才)	六二二	一三	七・一六	民	六
一三(才)	六三二	一三	一・一六	民	六
一三(才)	六六九	一三	七・二二	民	五
一三(才)	七三七	一三	九・二八	民	一〇
一三(才)	七五八	一三	九・一四	民	四
一三(才)	七六三	一三	一・二六	民	四
一三(才)	八〇二	一三	七・二〇	民	五
一三(才)	八一七	一三	〇・一	民	六
一三(才)	八六二	一三	七・二〇	商	六
一三(才)	九一二	一三	九・一〇	民	三
一三(才)	九三二	一三	九・一〇	民	三
一三(才)	九六一	一三	八・九	民	三
一三(才)	九六三	一三	一・一六	民	三

【控訴院】

一三(才)	九七一	一三	一・二五	民	五
一三(才)	九九一	一三	〇・八	民	四
一三(才)	九九八	一三	一・一九	民	三
一三(才)	一〇二〇	一三	九・〇三	民	二
一三(才)	一〇四二	一三	九・二八	民	一
一三(才)	一〇五二	一三	一・二六	民	一
一三(才)	一〇九二	一三	一・四	民	一
一三(才)	一一〇〇	一三	一・二六	民	一
一三(才)	一一一〇	一三	一・二六	民	一
一三(才)	一一三〇	一三	一・二六	民	一
一三(才)	一一三九	一三	一・二六	民	一
一三(才)	一一五二	一三	一・二六	民	一
一三(才)	一一五七	一三	一・二六	民	一
一三(才)	一一七二	一三	一・二六	民	一
一三(才)	一一七七	一三	一・二六	民	一

昭和十五年四月十五日印刷
昭和十五年四月三十日發行



判決要録
第二十九卷(昭和十四年版)奥付
定價金六圓

編輯者 東京市日本橋區本町四丁目五番地五
法律新聞社編輯部
發行者 東京市日本橋區本町四丁目五番地五
中村與市
印刷者 東京市王子區上十條町十九番地
鈴木榮太郎
印刷所 東京市王子區上十條町十九番地
法律新聞社印刷部

發行所

法律新聞社

東京市日本橋區本町四丁目五番地五
振替口座東京五二五五番
電話日本橋一九三一七番

大賣捌所

大阪北區堂島中二ノ二
法政書房
電話北一一三五番
振替口座大阪二二五番
本郷區淺嘉町五〇
酒井書店
電話小石川六三六八
神田區中猿樂町一
巖松堂
電話九段四二五・四二六
神田區一ツ橋通り五
有斐閣
電話九段〇三三・〇三三
麴町區九段一ノ七
東京堂
電話九段四二二・四二三
京橋區銀座西六ノ二
東海堂
電話銀座自五一九九一
至五一九九七
京橋區銀座西五ノ五
北隆館
電話銀座一七八・一七九
一七九・一七九

既刊

判例要錄

- ▽第十八卷(自昭和二年三月)至(昭和三年三月)千五百二頁定價總革金六圓
- ▽第十九卷(自昭和三年三月)至(昭和四年三月)千五百三頁定價總革金六圓
- ▽第二十卷(自昭和四年三月)至(昭和五年三月)千三百頁定價總革金六圓
- ▽第二十一卷(自昭和五年三月)至(昭和六年三月)千六百五十頁定價總革金六圓
- ▽第二十二卷(昭和六年)千六百頁定價總革金六圓
- ▽第二十三卷(昭和七年)千六百頁定價總革金六圓
- ▽第二十四卷(昭和八年)千六百頁定價總革金六圓
- ▽第二十五卷(昭和九年)千七百六十頁定價總革金六圓
- ▽第二十六卷(昭和十年)千八百頁定價總革金六圓
- ▽第二十七卷(昭和十一年)千八百頁定價總革金六圓
- ▽第二十八卷(昭和十二年)千六百頁定價總革金六圓

(送) 第二十卷 (內地) 一四錢 (臺灣・樺太) 三四錢 (滿洲・朝鮮・南洋) 四九錢
 (料) 他全部 (內地) 二二錢 (臺灣・樺太) 四七錢 (滿洲・朝鮮・南洋) 六二錢

發行所

東京市日本橋區本町四丁目五番地五

法律新聞社

電話日本橋五一七番・一九三一番 振替口座東京五二五五番

既刊

大審院裁判例

- 大審院裁判例 (一) 定價一圓三十錢 一〇錢 (內地) 一〇錢 (臺灣・樺太) 一二錢 (滿洲・朝鮮・南洋) 四二錢
- 大審院裁判例 (二) 定價一圓五十錢 一四錢 一五錢 四九錢
- 大審院裁判例 (三) 定價一圓五十錢 一〇錢 一二錢 四二錢
- 大審院裁判例 (四) 定價一圓五十錢 一〇錢 九錢 四二錢
- 大審院裁判例 (五) 定價一圓五十錢 一四錢 一八錢 四九錢
- 大審院裁判例 (六) 定價一圓八十錢 一四錢 二一錢 四九錢
- 大審院裁判例 (七) 定價一圓五十錢 一四錢 一八錢 四九錢
- 大審院裁判例 (八) 定價一圓五十錢 一四錢 二一錢 四九錢
- 大審院裁判例 (九) 定價一圓八十錢 一四錢 二四錢 四九錢
- 大審院裁判例 (十) 定價一圓八十錢 一四錢 二一錢 四九錢
- 大審院裁判例 (十一) 定價一圓八十錢 一四錢 二一錢 四九錢
- 大審院裁判例 (十二) 定價二圓 一四錢 二一錢 四九錢

送料 (小包) 臺灣・樺太 (第三種) 滿洲・朝鮮・南洋(書留)

發行所 法律新聞社

